統計月報第四十九號附錄
調查報告第四十六號

山東之物產

第四篇

青島、芝罘、龍口、威海衛地方の漁業

（附）嶗峒島及利津沖の黃花魚漁業

青島日本商工會議所

山東之物産

第四篇

目次

青島地方の漁業

緒言……一
第一 概況……二
第二 重要魚類及其漁獲高……二
第三 邦人の漁業狀況……四
第四 邦人漁業者營業別及地方別……六
一、營業別
二、地方別
第五 支那人漁夫……八
第六 支那側漁業取締狀況……八
第七 山東省に於ける水産物需要狀況並に其時期……一二

579-185
發行所寄贈本
五和昭・贈寄・六・三〇

一、水産物需要狀況
二、需要時期
第八　水産組合取扱漁獲高……一五
第九　輸移出品……四四
(イ)鮮魚鹽魚
(ロ)乾鳥賊
(ハ)寒天
一、輸出海産物に對する諸掛
二、輸出商
第十　輸移入品……四八
(イ)海參
(ロ)貝柱
(ハ)鰯
(ニ)昆布
(ホ)鱶鰭
(ヘ)鹽魚
(ト)乾魚
(チ)鮮魚
(リ)寒天
(ヌ)水母漬
第十一　本邦品の輸出に至る徑路……六六
(一)青島に於ける主なる日支人海産物輸入業者
(二)輸移入海産物に對する諸掛
第十二　山東省に於ける本邦水産物の將來……七〇
第十三　青島水産組合魚市場……七一
第十四　青島魚市場內日支人魚部……七三
第十五　水産規定……七五
芝罘、龍口、威海衞地方の漁業
總說……九七
第一　魚種及漁獲高……九八

發行所寄贈本

第二　漁獲物の販路及輸移出高……一〇〇
第三　支那官憲の取締……一〇三
第四　本邦監視船の出動取締……一〇三
第五　威海衛概況……一〇四

嶗峒島及利津沖の黄花魚漁業

概説……一〇六
第一　支那人の嗜好物たるグチ魚……一〇六
第二　漁期……一〇七
第三　グチ魚用風網の組立と漁業の大要……一〇七
第四　販賣方法及相場……一〇八
第五　漁獲高……一〇九
第六　支那官憲の取締と税金……一一一

青島地方の漁業

緒言

現在支那には未だ漁政上より特別の施設をなしたる所謂近代的漁港なるものはない。一般に漁港と稱せらるゝも偶々在來の地理的、經濟的條件の一致せる漁船の集合、漁獲物の陸揚、販賣等に便宜を有する地點を指すものにして特に漁港の名を冠するものはない。

之を山東省に見るに本省は地理的に惠れてゐる關係上膠州灣近海及芝罘、龍口、威海衛一帶の地には往古より漁業盛んに行はれ水產物の輸出地として著名なるも、其の漁法は獨治時代に至る迄何等保護改良等加へられず極めて幼稚であつたが日獨戰爭の結果膠州灣及其の沿海が我守備軍治下に入つて以來、邦人漁業者の青島を根據として出漁する者次第に加はり年と共に堅實なる發達をなし、今や山東角より海州沖一帶に亘る三百五十餘浬の海域は全然我水產勢力の範圍内に收むるを得るに至つた。

以下青島地方に於ける漁業狀況並に水產物需給一般につき其の概況を記す。

第一　概況

膠州灣は山東省の西南端に位し黄海に瀕し東經百二十度、北緯三十六度の地點に介在し、陸地面積三十六方里なるに比し海岸線は出入屈曲多く、延長約百六十餘浬に達し、海況は內灣と外海とを併有し內灣は魚介の蕃殖に適し、外海は十數箇の島嶼漁場の間に散布して自ら漁利の天惠に浴してゐる。

沿海は遠淺にして岸を距ること五十浬に及ぶも水深二十五尋を出でず、黄海の中央に進みて漸く五十尋に達するに過ぎざるを以て冬期に至れば温帶魚族の滯留に適せずと雖も春秋二期にありては產卵若くは求餌のため沿海に殺到する魚種甚だ多くその群來するものも亦甚だ多い。

斯く水深淺く且つ暖流々域に遠ざかるを以て其の漁獲の大部分は近海魚族に屬し就中鯛、黑鯛、鰆、鱶、鱈、スズキ、太刀魚等最も豊富である。海藻類は石花菜、惠胡、海羅等を產するも饒多ならず。

第二　重要魚類及其魚獲期

膠州灣近海に來游する魚族は朝鮮西海岸及關東州沿岸に棲息するものと大差はない。

其の重なるものを掲ぐれば

タイ、チヌ、ヒラ、タチウヲ、スズキ、グチ、ニベ、コノシロ、ボラ、フカ、カレイ、ヒラメ、タラ、エビ、タコ、イカ、カニ、アゲマキ、アサリ、ナマコ、ハモ等にして冬期にはタラ、カレイ、ヒラメ、ホウボウ等底魚を除いた大部分の魚族は水温を追つて沖合に移動し、陽春の候に至つて產卵求餌のために沿岸に密集來游し、晩秋水温の降下するに伴ひ南方に移るを一般の狀態とす。故に漁場は最初南方より始まり漸次北方に移り、初夏になると黄河下流一帶に魚族散游す。隨つて漁場擴大するも晩秋に至れば再び南方に移游するが底魚類は大した移動はない。

左に重要魚類の漁場漁期及漁具につき類別しよう。

種類	漁具	漁場	漁期
たい	延繩	海州沖合ヨリ石島沖合ニ至ル間百五六十浬以內ノ海面	自四月至十二月
ちぬ	一本釣	膠州灣內沙子口沿岸	自四月至十一月
さわら	流網	塔連島大公島小公島水靈山島附近四五十浬以內ノ海面	自四月至七月至九月至十二月
ふか	延繩	石島附近沖合百浬以內ノ海面	自七月至十月
たら	底曳網及延繩	千里島塔連島沖合ヨリ石島沖合ニ至ル百二十浬以內ノ海面	自一月至四月
すゞき	同	海州沖合ヨリ石島附近ニ至ル百五六十浬以內ノ海面	自三月至十二月
にべ	同	同	自四月至十二月

ひらめ	底曳網及延繩	海州沖合ヨリ石島附近ニ至ル百五六十浬	自三月至十二月
かれい	同	同	同
はも	同	同	自五月至十二月
たひ外底魚	機船底曳網	海州沖合ヨリ石島沖合ニ至ル百五六十浬	自八月至翌年五月
うなぎ	釣其他地曳網	膠州灣内沿岸灣内一帶	自四月至十月

第三　邦人の漁業狀況

邦人の漁業は大正三年に始り專ら青島を根據とし當初は灣内及靈山島、大公島、小公島、塔連島等比較的近海の小區域に限られてゐたが逐年擴大せられ、大正六年に至り海州沖の鯛漁場が發見されてより一層其の範圍は擴大せられ更に大正八年には官の補助奬勵に依り新に大型漁船七艘を造船し其の活動と相俟つて益々漁場を擴大延長し遠く山東角の沖合まで出漁する樣になり海州より山東角に至る漁域は殆んど我漁業者の獨占的活動舞台となつた。

漁法は日本人は主として鯛延繩にして鱶延繩、鱈延繩、一本釣漁業、流網漁業及發動機手操網は之に次ぐも、限られたる獵區に於て斯くの如き異常な發達と連年に亘る濫獲の爲、其の主なる鯛の漁獲の如きは漸次減少するの傾向を示したるに鑑み、大正十四年より機船底曳網を使用し沖合漁業を開始せしより逐年堅實なる發展の道程を辿り、沖合漁業進展と共に漁船の動力化により益々漁獲能力も增大し好成績をあげつゝあり。

支那人の漁法は既述の如く日本人の壓倒的勢力下にあり微々として振はざるも、利に敏き支那人漁夫は巧みに邦人の漁法を模倣しつゝ支那人の嗜好する太刀魚、鱈、黃花魚等の漁獲に從事しつゝあり。

今青島在住邦人の水產に必要なる漁船、漁具、其他諸設備一切に投資せし金額を揭ぐれば約百萬圓以上にのぼると稱せられ、之に關係を有する組合員(邦人)は四百餘名である。

從來日本內地より出稼する漁業者は每年四月より十二月に至る期間從漁するを例とし、終漁後は漁船、漁具等の保管を水產組合に委託し內地に歸還休業し翌年三月再び來靑し從漁準備に着手し居りたるも大正十年靑島沿海に新に多期間の漁場を發見するに及び每年日本に歸還しつゝありし者も往復費用其他の節約を計る意味に於て定住漁業者となり其の數も漸次增加し現在小型漁船を除いた外、發動手操船はもとより大型漁業船等年中活動しつゝあり今之が從漁船數を示せば次の如し。

從漁船數	七十隻	
內譯		
日本大型船	二十五隻	

日本小型船
發動機手操船（四十五馬力以上百馬力まで）三十隻

第四　邦人漁業者營業別及地方別（昭和四年度）

一、營業別

漁業名	船數	人員
鯛延繩漁業	二三（主として大型船を用ふ）	一三一
一本釣漁業	一四（小型船）	二六
潛水機漁業	一（小型船）	一
桝網漁業	一（小型船）	一
蛸生簀船	一（小型船）	二
鱈延繩漁業	×一七（大型船）	×一一〇
發動手操漁業	三〇	二三九
合計	七〇	四〇〇

備考　×印は鯛延繩漁業の兼營につき合計に算入せず。

二、地方別

地方別	漁業者數	地方別	漁業者數
長崎縣	六七	石川縣	六
山口縣	四六	福岡縣	四
熊本縣	四〇	鹿兒島縣	三
島根縣	四〇	佐賀縣	二
愛媛縣	三四	兵庫縣	二
大分縣	二一	鳥取縣	一
廣島縣	二〇	三重縣	一
香川縣	一三	德島縣	一
高知縣	七	沖繩縣	一
朝鮮	九一	合計	四百名

第五　支那人漁夫

山東省沿岸に居住する支那人漁夫の數は支那側に於て之が取締機關なきため其の數を正確に揭げることは至難であるが大體青島を中心として漁業に從事する土着の漁夫は一萬二三千人と稱せられる。

彼等は漁業を專業とするものは極めて少く、大部分は半農半漁的にして漁獲期に至れば從漁し、農繁期に至れば農につくものが多い。從つて其の漁具、漁法は二三種のものを除く外極めて幼稚にして見るべきものはない。

偶々昭和三年青島に徵稅機關として山東沿海漁航總局設立せられたるも、漁夫の猛烈なる反對に遭ひ現在徵稅不能の狀態にある。如述の如き有樣にして漁獲高も自然正確を期すること難きも、邦人當業者の談に依れば一年の水揚高、勿論年によつて多少の增減あるも百二三十萬元に上ると稱せられる。其の漁獲物の大部分は青島にて鹽漬とし鮮魚はそのまゝにて支那仲買人に賣捌き一部は水產組合の糶市場に上場される。

第六　支那側漁業取締狀況

山東省に於ては未だ一定せる取締規則の發令なきも昭和三年四月濟南に於て漁業取締會議を開催し漁業保護問題に關し左の四項を決定した。

一、軍艦をして近海を遊行せしめ外人の領海侵入を防止すること
二、トロール船の漁區侵入を禁止すること
三、海軍買收を取締ること
四、疑しき船舶の檢閱を勵行すること

併して軍艦の山東沿海警備區域は

第一區　滄州島より以南海州沖南北六十支里の區間四月五日より五月六日まで楚豫、海燕の二艦を以て保護警戒す

第二區　滄洲島より北方成山頭一帶並に威海衛、海陽の一帶四月五日より五月六日まで威海、海鶴二艦にて警戒す

第三區　成山頭より黃縣、招遠境界及北隍成島一帶の海面は四月二十日より五月二十一日まで江利、鎭海二艦にて警戒す

第四區　黃縣より招遠界大口河以北一帶の海面は四月二日より六月六日まで永翔、海鷗二艦にて警戒す

然れども果して實行せしや否や不明である、加ふるに爾來內亂續發の爲め保護取締りは不可能に陷り現在は殆んど放任の狀態である。

一、支那側將來の漁業計畫並に本邦漁業に對する對策

支那官憲側の計畫は窺知するを得ざるも漁業者にありては近來著しく邦人經營の漁業及漁撈法を見做ひ逐年其の數を增しつゝあり機船手操網の如きも當地方には未だ經營者なきも大連、芝罘及威海衛方面は三四年以前より經營者續出し最初は漁撈の經驗なきため邦人經營の舊式發動機にして經濟上不便なるもの又は老朽船にして船齡なきものを購入し漁撈に從事せるものなるが一昨年以來新規造船に新式發動機を据付け從業するの得策なるを實驗し盛に造船をなし、本年の如きは大連造船業者にありては既に終年の造船を引受け其の注文に應じきれざる盛況である。然れども漁撈の技術に至つては未だ邦人に及ばざること遠しと雖も現況より推して見れば將來は恐るべき發展をすべきものと思はるゝのみならず支那人漁業者にありては邦人漁業者に匹敵し漸次邦人漁業者を驅逐する計畫あるものの如く思推される。

二、支那に於ける漁業關係諸稅徵收方法及其の率

稅金徵收に關しては先年山東沿海漁航總局を設け各所にも分局を置き徵稅に着手せしも各所とも漁民の反對盛にして其の目的を達成することを得ず一時中絕せるも本年に至り又々當地に山東沿海漁航總局小港經徵處を置き同處にて左の率により徵稅なさんとし沿岸各所にも分局を置き徵稅吏を任命し昨年四月末各所に赴任せしも地方漁民の反對を受け徵稅することを得ず全部靑島に引揚げたるを以て現在は徵稅不能の狀態である。

三、漁網名稱及徵稅率

甲、黃花網	爲一等每年	稅金	銀二十六元	旗費	銀壹元二角	登錄 銀壹元
乙、柞網拉網	爲二等每年	稅金	銀二十二元	旗費	同	登錄 同
丙、風網圓網	爲三等每年	稅金	銀十八元	旗費	同	登錄 同
丁、抱網接網	爲四等每年	稅金	銀十四元	旗費	同	登錄 同
戊、高頭棒襠網	爲五等每年	稅金	銀十二元	旗費	同	登錄 同
己、氷鮮	爲六等每年	稅金	銀八元	旗費	同	登錄 同
庚、濁網販鮮	爲七等每年	稅金	銀四元	旗費	同	登錄 同
辛、釣鉤筐魚木筏	爲八等每年	稅金	銀二元	旗費	同	登錄 同

當地港務局にて徵收する碇泊料金は左の通りである。

積量	五千斤未滿	壹ヶ年	壹元
積量	七千斤同	同	貳元
積量	壹萬斤同	同	參元
積量	貳萬斤同	同	六元
積量	參萬斤同	同	七元
積量	四萬斤同	同	十二元

積量　五萬斤同　同　二十元
積量　八萬斤同　同　三十元
積量　十萬斤同　同　四十元
積量　二十萬斤同　同　六十元
積量　三十萬斤同　同　七十元
（右ハ昭和四年五月調査）

以上十萬斤を增す毎に料金は十元づつ增加する。

第七　山東省に於ける水產物需要狀況並に其時期

一、水產物需要狀況

青島は山東省に於ける水產物の供給地中最も注目すべき土地である。即ち山東省最大の貿易港で其の水產物の輸移入高は殆んど同港で占めて居ると稱しても過言でない。青島は既述せる如く近海に魚族豐富な好漁場を有し、其の漁獲高は相當な數量に上つてゐる爲山東內地に於ける水產物の供給地としては最も重要な土地である。從つて魚類の供給は低廉にして且つ圓滑に行はれ常に鮮魚を嗜食する邦人は多く之を求め支那人は彼等の嗜好物たる鹽魚、昆布、乾魚等の下級品より海參、鱶鰭、貝柱等の上級品を多く需要し、主として鐵道により省內各地に輸送せられる。

鐵道の統計によれば昭和二年には鮮鹽乾魚の輸送高は三千七百七十六瓩噸（單位千瓩噸即ち千六百七十八斤）之が鐵道運賃は二萬八千三百四十八元にして其他貝類は五百六十八瓩噸、鐵道運賃四千八百四十五元に上り昭和三年度には次表に示す如く何れも減少して居る。

膠濟鐵道輸送魚貝類月別表

單位（噸以下三位　運賃銀元）

月別＼品名及運賃	鮮鹽乾魚	運賃	貝類	運賃
一月	一九三、一八七瓩噸	一、七三〇・六四元	三〇、一六八噸	二四七・〇八元
二月	四二七、一三四	三、四四九・五二	〇、一九五	二・六四
三月	四三七、五七六	三、二五四・四〇	一、二〇三	一三・五六
四月	三〇五、七六四	二、三二一・五二	一、二五〇	一九・三二
五月	四九四、九八八	三、八九六・八八	三、六七九	六四・六八
六月	四二八、一八六	三、一八〇・四八	三七、八七六	二七一・五六
七月	一二九、四七七	九九七・三二	八八、七〇九	六六四・五六
八月	二〇五、九九七	一、二〇九・八四	二六、六五六	二七〇・一二

九月	二六四、七八九	二、〇四七・三二	一六、二九九	一五〇・〇二
十月	一四九、九二五	九五一・一二	四、一五八	四一・四〇
十一月	一〇四、九八二	七一〇・四〇	四、七三四	五四・〇〇
十二月	二四六、二九九	一、六六八・九六	一一〇、三四一	八五三・七二
合計	三、三八八、三〇四	二五、四一八・四〇	三二五、二六八	二、六五二・六六

二、需要時期

山東省に於ける水産物の需要期は其の種類、用途により區々で一定して居らぬ。例へば高級料理に使用される鱶鰭、海參、貝柱、乾鮑等の如きは格別の需要期とてなく佳節、祝宴等に際し隨時消費されてゐる。之に反し鹽鰊、鹽鱒、昆布類等は十月より四月頃迄の一定の時期を限つて消費されてゐる。これはもとより生産時期の關係上當然なことではあるが、本省に於ける鹽乾魚、昆布に對する需要期は我國に於けるとは異り決定的なものにして、此の時機を逸しては如何に價格を引下げても賣捌くことが出來ぬ。即ち前述の如く本省一般農民は未だ水産物に對する特殊の嗜好を有せず、僅かに冬期に至り野菜、肉類の代用品として使用するに止り、冬去つて野菜、肉類の價格下落し殊に支那人が特別の嗜好を有する黄花魚（崆峒島及利津冲グチ漁業概況にて詳述す）の漁獲期來れば自然鹽魚、昆布に對する需要は減少するのである。

第八　水産組合取扱漁獲高

今昭和二年より昭和四年に至る三ヶ年の水産組合取扱漁獲高を示せば左の如し。

鮮魚水揚高月別表

（昭和二年度）

月次	日本人漁獲高 數量	日本人漁獲高 金額	支那人漁獲高 數量	支那人漁獲高 金額	内地物輸入高 數量	内地物輸入高 金額
一月	一七、八三〇・〇〇〇	九、〇六二・四五	二一、一七七・〇〇〇	一〇、九九二・四六	四、二八八・〇〇〇	一二、一六三・五二
二月	一九、〇一九・〇〇〇	八、〇八四・九四	二七、三〇五・三〇〇	一二、八五〇・五〇	二、二一九・〇〇〇	六、九二三・八四
三月	二七、〇七六・〇〇〇	七、〇四七・二八	四四、九三二・二〇〇	一八、六五四・二五	二、九八五・〇〇〇	八、七三九・六三
四月	八、八四九・〇〇〇	一〇、五三九・〇三	二八、〇一六・〇〇〇	二一、四二四・二六	九四四・〇〇〇	二、五二一・九一
五月	一八、一七一・〇〇〇	一九、三九二・七三	二三、一〇八・〇〇〇	二〇、〇二五・八九	一一・〇〇〇	二六・四〇
六月	一九、三四二・〇〇〇	二一、二一八・九四	一〇、八一三・〇〇〇	一〇、五四六・七三	—	—
七月	一〇、九八七・〇〇〇	一三、六九三・二八	六、六六八・〇〇〇	八、四六二・五四	—	—
八月	九、二八六・〇〇〇	一一、三三〇・七一	七、七四四・〇〇〇	九、七一五・一二	—	—
九月	一三、六一七・〇〇〇	一六、〇三四・四三	一〇、一九〇・〇〇〇	一一、七六六・七〇	一一・〇〇〇	四三・八九
十月	二二、五〇二・〇〇〇	三三、〇九七・四三	六、〇二三・〇〇〇	五、五〇五・八三	四八八・〇〇〇	二、〇八七・一四
十一月	二五、九五九・〇〇〇	三三、四〇四・八二	三、九四二・〇〇〇	二、九九二・〇七	一、〇一〇・〇〇〇	六、〇四七・四三
十二月	四二、七二六・〇〇〇	三三、七七八・七二	二、三〇六・〇〇〇	一、七五四・〇〇	四、八二九・〇〇〇	一三、八七一・八三
合計	二三五、三六四・〇〇〇	二一六、六八四・七六	一九二、二二四・五〇〇	一三四、六九〇・三五	一六、七八五・〇〇〇	五二、四二五・五九

鮮魚水揚高月別表

（昭和三年度）

月次	日本人漁獲高		支那人漁獲高		内地物輸入高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一月	七〇、六三〇・〇〇〇	三三、一三〇・八一	六五九・〇〇〇	七七〇・七七	三、七一〇・〇〇〇	一一、二四三・〇七	七四、九九九・〇〇〇	四五、一四四・六五
二月	九五、四四五・〇〇〇	四二、四一六・五三	一一・〇〇〇	九・四三	三、〇六六・〇〇〇	九、七〇〇・七五	九八、六二三・〇〇〇	五二、二七七・七〇
三月	七六、六七〇・一〇〇	五七、八六七・七六	二、三四二・五〇	一、六三三・五〇	三、一二二・〇〇〇	一〇、一九九・四七	八二、一三一・〇〇〇	六九、六〇九・七三
四月	六一、〇三七・〇〇六	四五、七〇四・二一	二、一八三・〇〇〇	二、二六二・六五	二六六・〇〇〇	七五四・六〇	六三、四八六・〇〇〇	四八、七二一・四六
五月	三七、二〇四・〇〇〇	三八、一五七・六九	四一、七〇五・〇〇〇	三、七〇八・七二	—	—	四一、九〇九・〇〇〇	四一、八六六・四一
六月	三一、三四七・〇〇〇	三五、八九四・三五	三、〇〇四・〇〇〇	四、六六六・六九	—	—	三四、三五一・〇〇〇	四〇、五八五・一四
七月	一一、二九六・〇〇〇	一七、三四〇・九七	五、九四八・六五〇	一〇、七九九・九四	—	—	一七、二四四・六五〇	二八、一四〇・九一
八月	一六、二六四・〇〇〇	二〇、二七〇・九九	八、四八〇・〇〇〇	一一、五二四・八二	—	—	二四、七四四・〇〇〇	三一、七九五・八一
九月	二三、五二七・〇〇〇	二九、八七六・二四	七、三三八・〇〇〇	五、七九九・六〇	五八八・〇〇〇	二、三五六・〇九	三〇、八六五・〇〇〇	四一、四七五・八四
十月	四三、四二六・〇〇〇	四二、八四二・四六	四、四一四・〇〇〇	三、〇七五・八七	—	—	四八、四二八・〇〇〇	五〇、九九一・七一
十一月	六九、八四六・〇〇〇	五二、〇一〇・〇四	三、一〇四・〇〇〇	二、七九八・〇七	—	—	七三、一二八・〇〇〇	五八、一二〇・一一
十二月	一七二、五四四・〇〇〇	一〇〇、五四七・一二	一、五七七・〇〇〇	一、六三三・五〇	二一、二四三・〇七	九、七〇〇・七五	一九八、六二三・〇〇〇	一一二、二七七・七〇
總計	七〇九、二四三・一〇〇	五一五、九七八・一六	四三、八六六・一五〇	四二、一五〇・一一	三、七一〇・〇〇〇	一一、二四三・〇七	七五七、四九九・〇〇〇	五六九、二〇四・〇〇

鮮魚水揚高月別表

（昭和四年度）

月次	日本人漁獲高		支那人漁獲高		内地物輸入高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一月	三三五、六六八・九五〇	八四、五五八・三五	四〇八・二五〇	三七六・四二	五、四二七・二〇〇	一七、二八六・九八	一〇三、三二一・七五	三七、四二一・二〇
二月	一七四、二八六・〇〇〇	六三、三三〇・七一	一、一三七・〇〇	三八七・一一	四、三五一・〇〇〇	一四、七七三・二八	一七九、七七四・〇〇〇	六四、八九九・一〇
三月	一五二、五四五・〇〇〇	六六、九一九・〇九	四、七四九・二〇	一、五三八・二六	一五、四七八・五〇	一五、四七八・五〇	一八二、一七五・二〇	八四、九二五・八四
四月	七六、五五三・〇〇〇	六三、七三五・九八	三、七五四・〇〇〇	二、九七二・六五	五〇七五・〇〇〇	一七、一八七・八一	八六、一八七・〇〇〇	七二、八九七・七六
五月	五七、七六五・〇〇〇	四九、六二七・五六	六、一七六・〇〇〇	二、二六二・〇五	八八〇・〇〇〇	二、三四一・〇〇〇	六四、八二三・〇〇〇	五四、二三〇・六一
六月	三九、六八六・〇〇〇	三一、八六五・〇三	二、一三九・八〇	一、三五九・〇〇	—	—	四一、八二五・八〇	三三、二二四・〇三
七月	九、六八八・〇〇〇	一一、三九〇・八〇	三、〇二九・〇〇〇	二、一九二・〇〇	—	—	一二、七一七・〇〇〇	一三、二八二・八〇
八月	六、〇六四・〇〇〇	九、四五一・四七	三、二四九・〇〇〇	二、四六二・四四	—	—	九、三一三・〇〇〇	一一、九一四・九一
九月	五五、〇五四・〇〇〇	四七、五一二・三〇	四、八〇九・〇〇〇	三、二四二・六五	—	—	五九、八六三・〇〇〇	五〇、七五四・九五
十月	一二四、七一八・〇〇〇	七四、九四三・二三	二、一九二・〇〇〇	一、六三〇・〇〇	—	—	一二六、九一〇・〇〇〇	七六、五七三・二三
十一月	一四九、二五八・八〇〇	八三、〇四九・四九	二、九八九・三〇〇	二、七九八・三〇	—	—	一五二、一四八・一〇〇	八五、八四八・七九
十二月	一〇四、五四一・〇〇〇	五九、七八三・九四	一、七〇七・二〇〇	一、四九九・四三	—	—	一〇六、二四八・二〇〇	六一、二八三・三七
總計	一、〇七五、八八七・〇〇〇	六四六、〇九六・九四	四二、一〇九・四三	三二、七九八・一二	二三、九三一・四〇	七三、四三五・九七	一、一四一、九二八・三三〇	七六二、一七五・一二

漁獲高明細書

（昭和二年度）

品目	タイ						タラ				メバル			
區別	日		支		內		日		支		日		支	
	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
一月	—	—	—	—	六一	四一六	一五、八二五	七、二〇六	一二、四〇五	五、八一七	三四三	二〇五	六三	六六
二月	—	—	—	—	三〇	二〇一	一五、八二〇	六、九三八	二一、六五七	八、二六五	一九九	二三八	一六九	一九一
三月	—	—	—	—	二七	一八五	二三、九四〇	四、九八八	二七、六二五	七、二五三	三三三	三一四	四九一	四三九
四月	一、一七五	二、八二三	五八八	一、五一五	—	—	一、六五〇	四一三	九七〇	三八八	—	—	六〇	五四
五月	五、三九〇	八、〇八一	三、五一五	五、〇九三	—	—	—	—	—	—	一二八	一八七	二〇	二八
六月	六、七〇七	一〇、一九七	二、六五一	三、四五三	—	—	—	—	—	—	二二八	三〇一	—	—
七月	五、五〇二	七、六〇六	二、〇八四	三、一九五	—	—	—	—	—	—	二六六	四〇四	一〇	一七
八月	六、三二五	七、四八二	三、三〇七	四、三四九	—	—	—	—	—	—	一八三	二五二	一一	一四
九月	七、三〇〇	一〇、九五〇	四、〇八〇	五、四九八	—	—	—	—	—	—	一六〇	一四四	五六	四〇
十月	八、七五〇	一四、八七五	四九〇	六三七	—	—	—	—	—	—	二九〇	二三九	八〇	九二
十一月	一三、〇五二	二二、一八八	五八〇	八七〇	—	—	—	—	—	—	一八一	一二七	二〇	一八
十二月	七、八九〇	一五、七八〇	二一〇	四二〇	—	—	二〇、八〇〇	八、三三〇	一、〇二〇	四〇八	五八	四九	九	六
計	六二、〇九一	九九、九八二	一七、五〇五	二五、〇三〇	一一八	八〇二	七八、〇三五	二七、八六五	六三、六七七	二二、一三一	二、三四九	二、四六〇	九八九	九六五

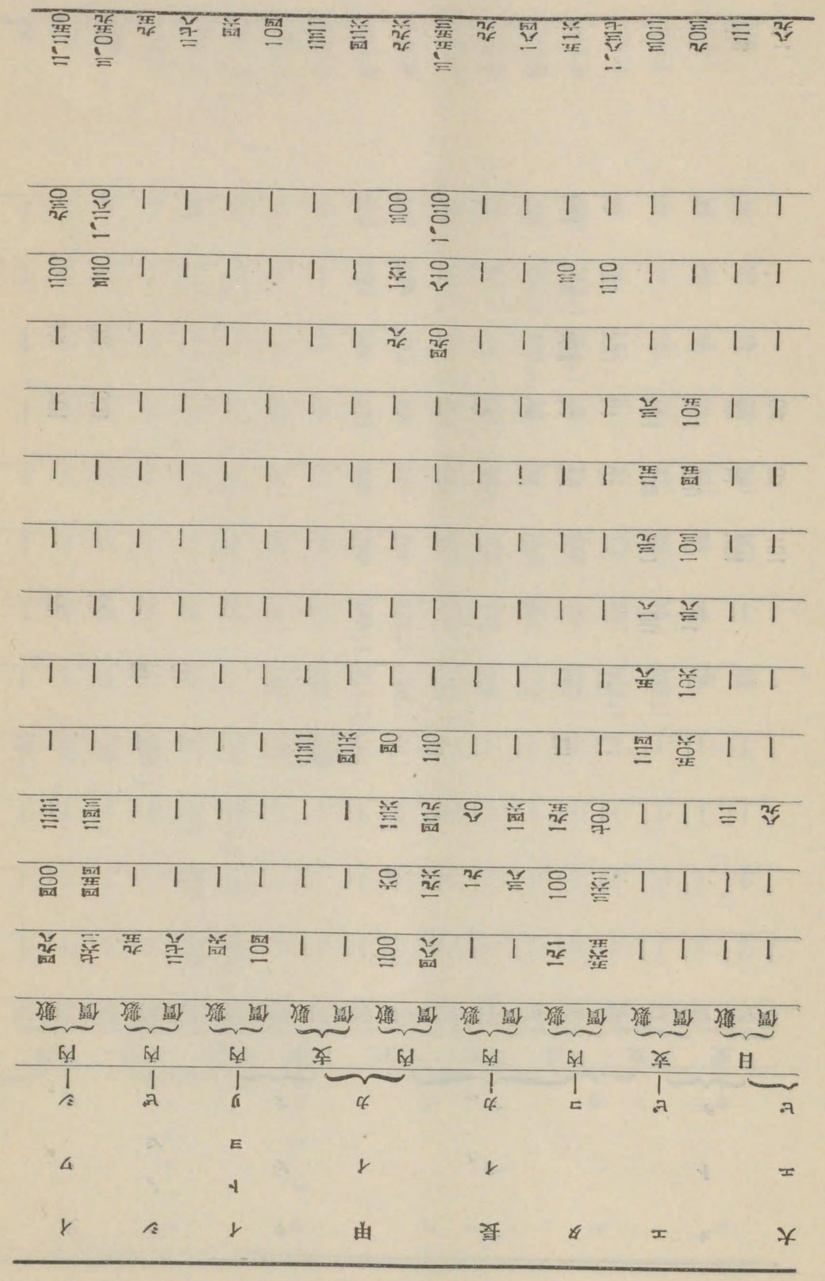
品目	ダチ						カツキー		サバ				小カレイ				大カレイ	
區別	日		支		內		內		支		內		日		支		日	
	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
一月	一七七	一五九	六五六	六七〇	—	—	一、三三八	四、八四二	—	—	七六〇	一、四八八	八七六	五四〇	三、八二六	二、〇三四	三〇〇	二五一
二月	—	—	—	—	—	—	六一四	三、〇四六	—	—	三七七	七五四	二九三	二六一	三、三〇四	二、二七三	—	—
三月	—	—	—	—	一九〇	二九四	八四三	三、三二九	—	—	四五二	八八二	一、二三六	六四二	八、六八〇	四、五一三	四二九	四〇七
四月	二、〇四四	一、八八八	六、七一〇	六、一〇八	八八	一三二	三六四	一、二七〇	—	—	一九〇	三八〇	一六〇	一一二	三、五九〇	二、三六一	—	—
五月	四、五三二	三、四七九	五、二六二	三、九九九	—	—	—	—	七	一四	—	—	—	—	二、三八一	一、五八一	—	—
六月	四、六五八	三、五〇二	二、六二〇	一、九七一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七月	一、一〇一	八九八	八六二	七六五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	二三〇	一五四	三一〇	二三八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	八六〇	八六四	三九六	四〇八	—	—	—	—	—	—	—	—	六八〇	三四〇	一、二四〇	四九六	三〇	二一
十月	二、〇六九	二、二七六	四九〇	三八九	—	—	二四〇	一、一六〇	—	—	—	—	二、九〇〇	一、四五〇	一、四八〇	七四〇	八九六	八〇六
十一月	一、八九〇	一、五一三	二六	二三	—	—	五二〇	四、一六〇	—	—	二五	七五	三、二〇〇	一、九二〇	五二七	二六三	七三五	五八八
十二月	二、〇六〇	二、九〇〇	一〇	九	—	—	九八〇	七、八四〇	—	—	四九五	八四二	五、〇〇〇	一、五〇〇	一六二	九〇	八九〇	六二三
計	一九、六二一	一七、六三二	一七、三四二	一四、五七〇	二七八	四二六	四、八九九	二五、六四七	七	一四	二、二九九	四、四二一	一四、三四五	六、七六五	二五、一九〇	一四、三五〇	三、二八〇	二、六九六

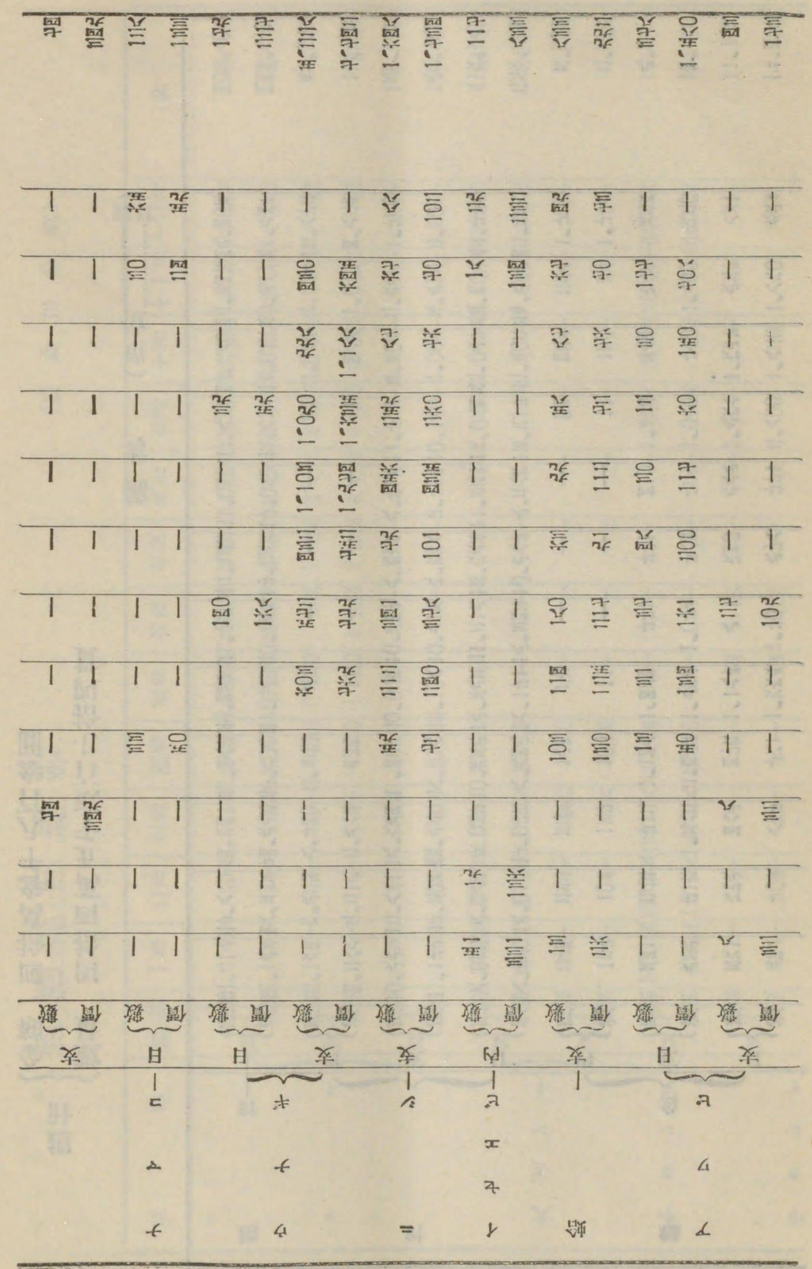
（前頁ヨリ）		中カレイ				コチ				カナガシラ				フグ		フカ	
支		日		支		日		支		日		支		内		日	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
六五〇	五八〇	｜	｜	｜	｜	四〇	三二	三五	二八	三四一	一四〇	一、五六二	六五七	二一二	九八三	二八〇	一六八
一、三四九	一、六五九	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一三七	六三五	｜	｜
三、九九五	三、六二五	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二六〇	一一九	二、一五〇	九六三	一三六	四三三	｜	｜
二、八八四	三、四八三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	四、七七〇	一、八九八	｜	｜	｜	｜
一八三	一九二	六六	九九	｜	｜	｜	｜	一、〇五五	五二九	｜	｜	二、五二〇	一、〇八三	｜	｜	｜	｜
｜	｜	一、〇五五	一、三六九	九二八	一、一五六	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	一、〇六九	一、四七二	七一七	九六三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	五五四	三二七	｜	｜	｜	｜
｜	｜	九五五	一、一八六	八七〇	一、一〇〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
六八	五六	三六八	四〇五	五二六	五七九	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三八五	一九三	｜	｜	三六〇	一八〇
三一五	二五二	七三〇	五一二	八八二	七九四	｜	｜	｜	｜	八二〇	七三八	｜	｜	｜	｜	四三〇	二一五
｜	｜	八六〇	五一六	三六二	二五三	｜	｜	｜	｜	七七四	八五一	｜	｜	｜	｜	一五二	六一
｜	｜	一、五六〇	七八〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	六〇〇	五九五	｜	｜	八二	二四六	｜	｜
九、四四四	九、八四七	六、五六三	六、三三九	四、二八五	四、八四五	四〇	三二	一、〇九〇	五五七	二、七九五	二、四四三	一一、九四一	五、一二一	五六七	二、二九七	一、三三二	六二四

フカ		スズキ				ニベ				サワラ						コチ	
支		日		支		日		支		日		支		内		日	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
一、〇一〇	五一三	｜	｜	一〇	二八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二	六六	｜	｜
｜	｜	｜	｜	一一〇	二三七	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	｜	｜	五二七	七七〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
三、四五〇	一、五四八	｜	｜	四四	四八	一、二〇七	一、六八八	｜	｜	｜	｜	二二	四四	｜	｜	四四四	六五一
九七〇	三八三	三三六	四八四	｜	｜	三、四八五	三、二七三	一、四二六	一、三四八	｜	｜	六四二	八四七	｜	｜	六八三	六六二
三八〇	一五二	四二一	五九〇	二二四	三〇六	二、六一五	二、四一五	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	三六八	六二〇	一八六	三二九	一、一〇一	八九九	八六二	七六五	一三六	一七四	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	三〇六	五四八	八六	一四六	二二〇	一五四	三一〇	二二八	二九	三八	｜	｜	｜	｜	｜	｜
三九	二〇	一三五	二三〇	二一三	二五四	一八五	一四〇	二〇〇	一三〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三二〇	二八〇
八二	四一	一九九	二五九	一〇五	九五	一、六八二	八四二	三九	二〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	六、八二〇	六、一三八
六三	三二	七八	一〇一	一六	一〇	九九九	八九九	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	五九三	六五二
｜	｜	五六	九五	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	七八〇	五四六
五、九九四	二、六八八	一、八九九	二、九二七	一、五三〇	二、二二三	一一、四九四	一〇、三一〇	二、八三七	二、四八一	一六五	二一三	六六四	八九一	二	六六	九、六四〇	八、九二九

（前頁より）		レンコダイ				ホウボウ		モク				ハモ				ボラ	
支		日		内		支		日		支		日		支		支	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
—	—	—	—	五七〇	一、三七五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	三二八	八三二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	四五九	一、六一三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五八	七五	七九〇	一、五八二	六〇	二一六	八八六	九八一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	二九〇	二三〇	一、一一九	一、〇四一	六六八	五九三	六八一	六八八	一、一一五	一、一五五	三〇	四五
—	—	—	—	—	—	—	—	一、五五四	一、三四六	五六八	四九一	一三七	一六一	二八	二八	—	—
—	—	—	—	—	—	七七	七七	八三〇	八七九	五三七	六〇二	二八八	三四三	二一	二三	七五	一〇九
—	—	—	—	—	—	—	—	二七五	三二二	三五六	三五三	七八	八四	一九	一九	一四五	一九六
—	—	—	—	—	—	二〇	二二	一六八	一八五	一三〇	一三〇	三八	四三	八	一〇	八九	九〇
—	—	—	—	—	—	三〇	二七	七五三	六七八	—	—	一、六二四	一、七八六	一〇五	一四二	三八	四六
—	—	—	—	—	—	—	—	六四〇	五九六	一七	一四	一、〇八九	一、四一六	—	—	二九	二六
—	—	—	—	三〇	九〇	—	—	三三〇	二八八	三八	三〇	七三六	七九〇	—	—	一五	一六
五八	七五	七九〇	一、五八二	一、四四七	四、一二六	一、三〇三	一、三三六	五、六五九	五、三三五	二、三〇四	二、一〇三	四、六七一	五、三一一	一、二九六	一、三七七	四二一	五二八

セイゴ				アナゴ						クヅナ				コノシロ		大フカ	
日		支		日		支		内		日		内		支		日	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
—	—	—	—	—	—	—	—	八九	一三八	—	—	一九	五五	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	三〇	三九	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	九八	一六四	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	一三	二四	—	—	四〇	六〇	四九〇	七三四	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	五一	七七	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇	一四	—	—
—	—	一七〇	二〇八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九九	九九
一〇二	一五二	八八	一三六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五〇	七九	二三一	三三六	二〇	二六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三〇	三九	一二六	一三三	一三	一八	九〇	九五	—	—	—	—	—	—	—	—	一三〇	一〇八
—	—	—	—	二六八	四〇九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三〇	二七
—	—	—	—	一五二	三一八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九〇	八一
—	—	—	—	九六	一七三	—	—	一三〇	一六七	—	—	—	—	—	—	—	—
一八二	二七〇	六一五	八一三	六一二	九五五	九〇	九五	三七七	五六八	四九〇	七三四	一九	五五	一〇	一四	三三九	三一五





イワシ 内 數	イワシ 内 價	シビ 内 數	シビ 内 價	イトヨリ 内 數	イトヨリ 内 價	甲イカ 支 數	甲イカ 支 價	甲イカ 内 數	甲イカ 内 價	長イカ 内 數	長イカ 内 價	タコ 内 數	タコ 内 價	エビ 支 數	エビ 支 價	大エビ 日 數	大エビ 日 價
四九八	七六二	九五	二七八	四六	一〇四	—	—	二〇〇	四八八	—	—	一九一	五六五	—	—	—	—
四〇〇	四五四	—	—	—	—	—	—	六〇	一九六	一九	三八	一〇〇	三六二	—	—	—	—
二二二	二四三	—	—	—	—	—	—	一三六	四二九	八〇	一四六	一九五	七〇〇	—	—	二	八九
—	—	—	—	—	—	二三一	四二六	四〇	一三〇	—	—	—	—	一三四	五〇六	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五八	一〇六	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八	三八	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三九	一〇三	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二五	四五	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三八	一〇五	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	九八	四九〇	—	—	—	—	—	—	—	—
二〇〇	三三〇	—	—	—	—	—	—	一六二	八一〇	—	—	三〇	二一〇	—	—	—	—
九三〇	一、二八〇	—	—	—	—	—	—	三〇〇	一、〇一〇	—	—	—	—	—	—	—	—
二、二五〇	三、〇五九	九五	二七八	四六	一〇四	二三一	四二六	九九六	三、五五三	九九	一八四	五一六	一、八三七	三〇二	九〇三	二	八九

大エビ 支 數	大エビ 支 價	ナマコ 日 數	ナマコ 日 價	ウナギ 日 數	ウナギ 日 價	ウナギ 支 數	ウナギ 支 價	ニシ 支 數	ニシ 支 價	イセエビ 内 數	イセエビ 内 價	蛤 支 數	蛤 支 價	アワビ 日 數	アワビ 日 價	アワビ 支 數	アワビ 支 價
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五一	三三一	一三	二六	—	—	八	三三
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一九	一三六	—	—	—	—	—	—
七四	三四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八	三三
—	—	三三	五〇	—	—	—	—	五九	七二	—	—	一〇三	一三〇	一三	五〇	—	—
—	—	—	—	—	—	六〇三	七六九	二一三	二四〇	—	—	一一四	一二五	三一	一三四	—	—
—	—	—	—	一四〇	一六八	五七二	七七九	三四一	三七八	—	—	一八〇	二一七	三七	一六一	二七	一〇九
—	—	—	—	—	—	四三二	七五二	七九	一〇一	—	—	六三	九一	四八	二〇〇	—	—
—	—	—	—	—	—	一、一〇三	一、九七四	四五六	四三五	—	—	九九	一一三	三〇	一一七	—	—
—	—	—	—	三九	五九	一、〇九〇	一、六三五	二五九	二六〇	—	—	五八	七二	一一	六〇	—	—
—	—	—	—	—	—	九九八	一、一八八	八七	七六	—	—	八七	七六	三〇	一五〇	—	—
—	—	三〇	二四	—	—	四三〇	六四五	六七	七〇	一八	一三四	六七	七〇	一七七	七〇八	—	—
—	—	六五	五九	—	—	—	—	八八	一〇二	二九	二三二	四九	七三	—	—	—	—
七四	三四九	一二八	一三三	一七九	二二七	五、二三八	七、七四二	一、六四八	一、七三四	一一七	八三三	八三三	九九二	三七八	一、五八〇	四三	一七三

雜魚 日 數	雜魚 日 價	雜魚 支 數	雜魚 支 價	雜魚 內 數	雜魚 內 價	總計 日 數	總計 日 價	總計 支 數	總計 支 價	總計 內 數	總計 內 價	計 數	計 價
五四八	三六一	九三九	五四一	一三七	二七四	一八、七三〇	九、〇六二	二一、一七七	一〇、九九三	四、二八八	一二、一六四	四四、一九五	三二、二二八
七〇七	六四九	七一六	二二五	一〇五	二三三	一九、〇一九	八、〇八五	二七、三〇五	一二、八五一	二、二二九	六、九二四	四八、五四三	二七、八六〇
八六七	四八九	一、三八二	七二三	一五七	三三三	二七、〇七六	七、〇四七	四四、九三三	一八、六五四	二、九八五	八、七四〇	七四、九九三	三四、四四一
七六二	四七六	二、四七五	一、一四八	一〇二	一九四	八、八四九	一〇、五三九	二八、〇一六	二一、四二六	九四四	二、五三三	三七、八〇九	三四、四八七
一、六六九	一、一八七	一、八六五	一、四五四	一一	二六	一八、一七一	一九、三九三	二三、一〇八	二〇、〇二六	一一	二六	四一、二九〇	三九、四四五
一、七〇一	九一二	一、〇七五	七七一	—	—	一九、三四二	二一、二二九	一〇、八一三	一〇、五四七	—	—	三〇、一五六	三一、七六六
九七八	六四〇	七八四	七七一	—	—	一〇、九八七	一三、六九三	六、六六八	八、四六三	—	—	一七、六五五	二三、一五六
七七一	九九九	七二六	四一〇	—	—	九、二八六	一一、三三一	七、七四四	九、七一五	—	—	一七、〇三〇	二一、〇四六
二、八〇〇	一、九六八	一、〇九〇	一、五六二	一一	四四	一三、六一七	一六、〇三四	一〇、一九〇	一一、七六七	一一	四四	二三、八一八	二七、八四五
一、八三〇	一、六九七	七九〇	五九四	一五〇	四三七	二二、五〇二	三三、〇九七	六、〇三三	五、五〇六	四八八	二、〇八七	二九、〇一三	四〇、六九〇
一、八六〇	九三七	一、八〇〇	六七二	五五	二三八	二五、九五九	三三、四〇五	三、九四二	二、九九二	一、〇一〇	六、〇四七	三〇、九一一	四二、四四四
九九五	八五一	六二〇	五三六	一、七七八	一、七三六	四二、七二六	三三、七七九	二、三〇六	一、七五四	四、八二九	一三、八七二	四九、八六一	四九、四〇五
一五、四七七	一二、一六五	一四、二六二	九、三八七	二、五〇六	三、五〇四	二三六、二六四	二一六、六八四	一九二、三二四	一三四、六九三	一六、七八五	五二、四二六	四四五、二七四	四〇三、八〇三

總計 數量 四拾四萬五千貳百七拾四貫
　　 金額 四拾萬參千八百參圓

備考 （單位……貫 ……圓）

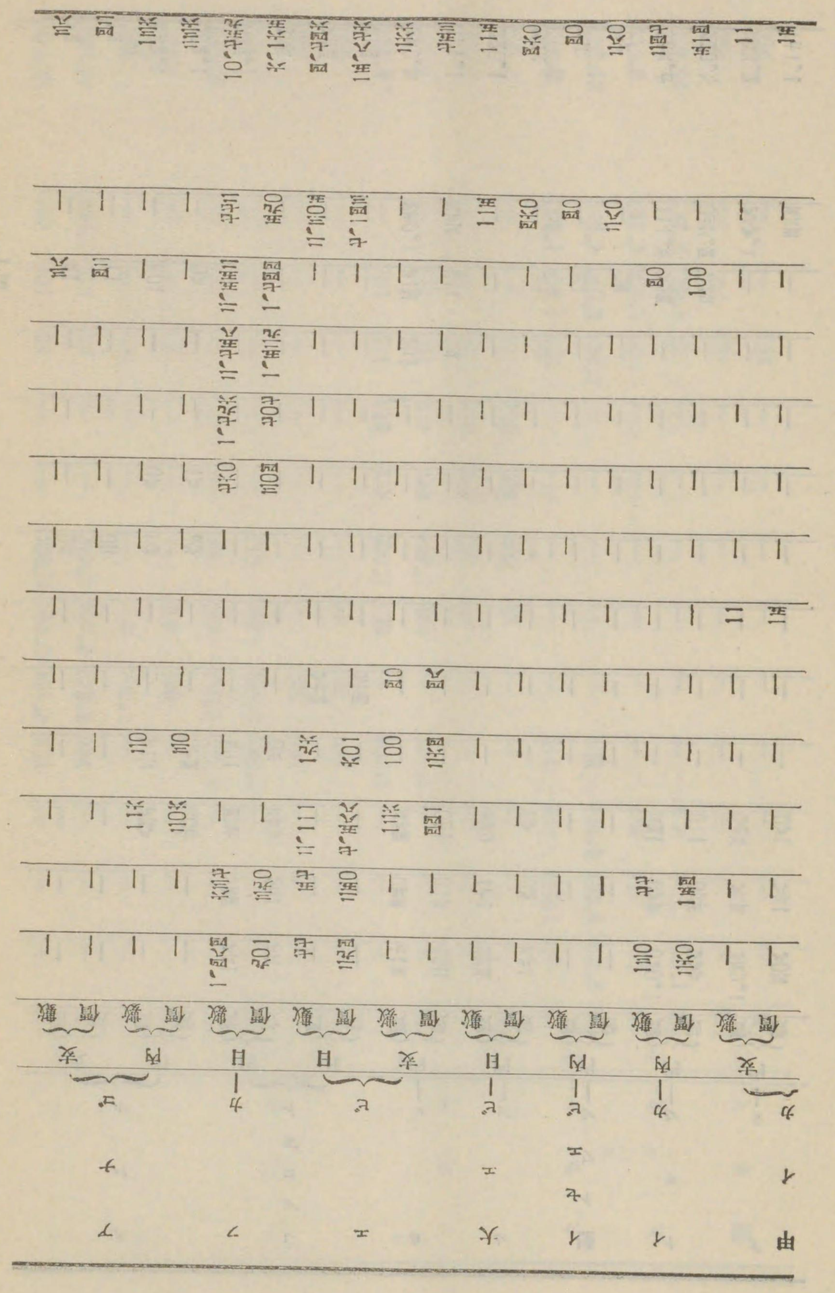
漁獲高明細書

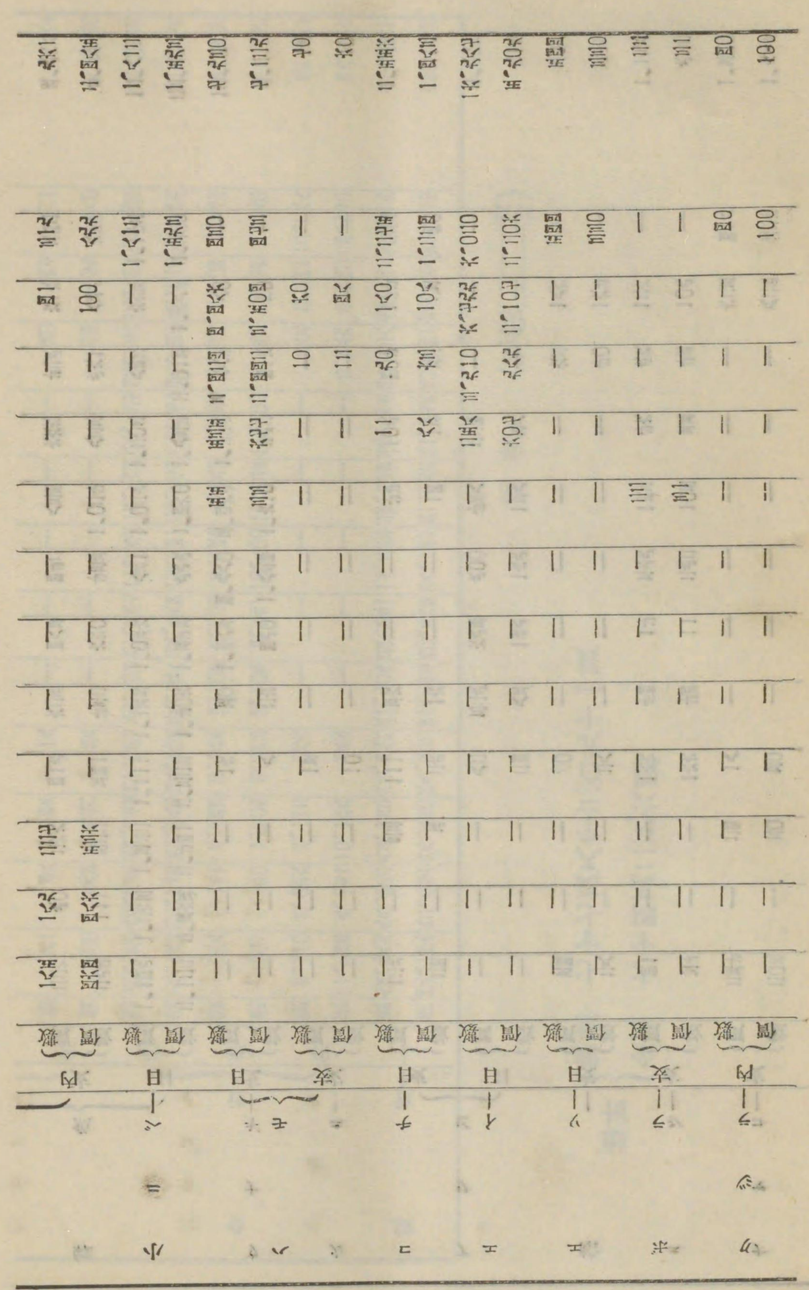
（昭和三年度）

區別	タイ 日 數	タイ 日 價	タイ 支 數	タイ 支 價	タイ 內 數	タイ 內 價	大カレイ 日 數	大カレイ 日 價	大カレイ 支 數	大カレイ 支 價	小カレイ 日 數	小カレイ 日 價	中カレイ 日 數	中カレイ 日 價
一月	—	—	—	—	二六	一八七	三、四八三	三、八六〇	—	—	一七、〇八三	六、六四一	—	—
二月	—	—	—	—	三	七八	四、〇三三	四、七二七	—	—	三四、四九五	一三、一九九	—	—
三月	八	一三〇	—	—	一〇五	六九〇	一一、六五〇	一一、三四五	四五〇	三三八	二三、八二八	九、七〇八	—	—
四月	二、六七三	五、八五〇	二四〇	三八〇	七	七七	四、八七六	四、二九四	二三〇	二五三	一一、七八五	三、四五〇	—	—
五月	一八、七七三	二六、〇七三	二、〇八〇	一、六六〇	—	—	—	—	—	—	—	—	七五	三五
六月	一三、四三四	一八、八六七	九六九	一、六四四	—	—	—	—	—	—	—	—	九六	一二九
七月	四、五一三	八、二七三	一、八四九	三、三二三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	一一、〇二六	一五、〇八九	四、八六二	五、九〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	一三、八六五	二〇、九一七	四、八三七	七、八九〇	—	—	—	—	—	—	二三九	一五九	—	—
十月	二一、六二一	二七、九二一	一、八二七	三、〇六三	—	—	—	—	—	—	七五五	四五九	—	—
十一月	七、八七一	一六、六〇八	二七〇	五七六	—	—	二六八	二九四	—	—	二〇、〇九七	六、七〇三	—	—
十二月	二、六〇七	八、一八〇	四四	一一四	—	—	四、九三〇	三、九八九	—	—	六三、七二八	二五、一四八	—	—
計	九五、三九〇	一四七、九〇八	一六、九七八	二四、五五〇	一五〇	一、〇三三	二九、二二九	二八、五〇九	六八〇	五九一	一七一、〇一〇	六四、四六六	一七一	一六四

價數	日	價數	支	價數	日	價數	支	價數	日	價數	支	價數	日	價數	支	價數	日	價數	支
一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲寅	一	甲申
一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙卯	一	乙酉
一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙辰	一	丙戌
一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁巳	一	丁亥
一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊午	一	戊子
一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己未	一	己丑
一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚申	一	庚寅
一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛酉	一	辛卯
一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬戌	一	壬辰
一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸亥	一	癸巳
一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲子	一	甲午
一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙丑	一	乙未
一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙寅	一	丙申
一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁卯	一	丁酉
一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊辰	一	戊戌
一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己巳	一	己亥
一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚午	一	庚子
一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛未	一	辛丑
一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬申	一	壬寅
一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸酉	一	癸卯
一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲戌	一	甲辰
一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙亥	一	乙巳
一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙子	一	丙午
一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁丑	一	丁未
一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊寅	一	戊申
一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己卯	一	己酉
一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚辰	一	庚戌
一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛巳	一	辛亥
一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬午	一	壬子
一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸未	一	癸丑
一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲申	一	甲寅
一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙酉	一	乙卯
一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙戌	一	丙辰
一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁亥	一	丁巳
一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊子	一	戊午
一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己丑	一	己未
一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚寅	一	庚申
一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛卯	一	辛酉
一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬辰	一	壬戌
一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸巳	一	癸亥
一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲午	一	甲子
一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙未	一	乙丑
一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙申	一	丙寅
一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁酉	一	丁卯
一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊戌	一	戊辰
一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己亥	一	己巳
一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚子	一	庚午
一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛丑	一	辛未
一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬寅	一	壬申
一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸卯	一	癸酉
一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲辰	一	甲戌
一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙巳	一	乙亥
一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙午	一	丙子
一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁未	一	丁丑
一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊申	一	戊寅
一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己酉	一	己卯
一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚戌	一	庚辰
一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛亥	一	辛巳
一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬子	一	壬午
一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸丑	一	癸未
一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲寅	一	甲申
一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙卯	一	乙酉
一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙辰	一	丙戌
一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁巳	一	丁亥
一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊午	一	戊子
一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己未	一	己丑
一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚申	一	庚寅
一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛酉	一	辛卯
一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬戌	一	壬辰
一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸亥	一	癸巳
一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲子	一	甲午
一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙丑	一	乙未
一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙寅	一	丙申
一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁卯	一	丁酉
一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊辰	一	戊戌
一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己巳	一	己亥
一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚午	一	庚子
一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛未	一	辛丑
一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬申	一	壬寅
一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸酉	一	癸卯
一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲戌	一	甲辰
一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙亥	一	乙巳
一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙子	一	丙午
一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁丑	一	丁未
一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊寅	一	戊申
一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己卯	一	己酉
一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚辰	一	庚戌
一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛巳	一	辛亥
一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬午	一	壬子
一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸未	一	癸丑
一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲申	一	甲寅
一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙酉	一	乙卯
一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙戌	一	丙辰
一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁亥	一	丁巳
一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊子	一	戊午
一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己丑	一	己未
一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚寅	一	庚申
一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛卯	一	辛酉
一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬辰	一	壬戌
一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸巳	一	癸亥
一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲午	一	甲子
一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙未	一	乙丑
一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙申	一	丙寅
一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁酉	一	丁卯
一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊戌	一	戊辰
一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己亥	一	己巳
一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚子	一	庚午
一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛巳	一	辛亥	一	辛丑	一	辛未
一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬午	一	壬子	一	壬寅	一	壬申
一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸未	一	癸丑	一	癸卯	一	癸酉
一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲申	一	甲寅	一	甲辰	一	甲戌
一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙酉	一	乙卯	一	乙巳	一	乙亥
一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙戌	一	丙辰	一	丙午	一	丙子
一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁亥	一	丁巳	一	丁未	一	丁丑
一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊子	一	戊午	一	戊申	一	戊寅
一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己丑	一	己未	一	己酉	一	己卯
一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚寅	一	庚申	一	庚戌	一	庚辰
一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛卯	一	辛酉	一	辛亥	一	辛巳
一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬辰	一	壬戌	一	壬子	一	壬午
一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸巳	一	癸亥	一	癸丑	一	癸未
一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲午	一	甲子	一	甲寅	一	甲申
一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙未	一	乙丑	一	乙卯	一	乙酉
一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙申	一	丙寅	一	丙辰	一	丙戌
一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁酉	一	丁卯	一	丁巳	一	丁亥
一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊戌	一	戊辰	一	戊午	一	戊子
一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己亥	一	己巳	一	己未	一	己丑
一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚子	一	庚午	一	庚申	一	庚寅
一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛丑	一	辛未	一	辛酉	一	辛卯
一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬寅	一	壬申	一	壬戌	一	壬辰
一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸卯	一	癸酉	一	癸亥	一	癸巳
一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲辰	一	甲戌	一	甲子	一	甲午
一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙巳	一	乙亥	一	乙丑	一	乙未
一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙午	一	丙子	一	丙寅	一	丙申
一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁未	一	丁丑	一	丁卯	一	丁酉
一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊申	一	戊寅	一	戊辰	一	戊戌
一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己酉	一	己卯	一	己巳	一	己亥
一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚戌	一	庚辰	一	庚午	一	庚子
一	辛巳	一	辛亥	一	辛未	一	辛丑	一	辛酉	一	辛卯	一	辛亥	一	辛巳	一	辛未	一	辛丑
一	壬午	一	壬子	一	壬申	一	壬寅	一	壬戌	一	壬辰	一	壬子	一	壬午	一	壬申	一	壬寅
一	癸未	一	癸丑	一	癸酉	一	癸卯	一	癸亥	一	癸巳	一	癸丑	一	癸未	一	癸酉	一	癸卯
一	甲申	一	甲寅	一	甲戌	一	甲辰	一	甲子	一	甲午	一	甲寅	一	甲申	一	甲戌	一	甲辰
一	乙酉	一	乙卯	一	乙亥	一	乙巳	一	乙丑	一	乙未	一	乙卯	一	乙酉	一	乙亥	一	乙巳
一	丙戌	一	丙辰	一	丙子	一	丙午	一	丙寅	一	丙申	一	丙辰	一	丙戌	一	丙子	一	丙午
一	丁亥	一	丁巳	一	丁丑	一	丁未	一	丁卯	一	丁酉	一	丁巳	一	丁亥	一	丁丑	一	丁未
一	戊子	一	戊午	一	戊寅	一	戊申	一	戊辰	一	戊戌	一	戊午	一	戊子	一	戊寅	一	戊申
一	己丑	一	己未	一	己卯	一	己酉	一	己巳	一	己亥	一	己未	一	己丑	一	己卯	一	己酉
一	庚寅	一	庚申	一	庚辰	一	庚戌	一	庚午	一	庚子	一	庚申	一	庚寅	一	庚辰	一	庚戌
一	辛卯	一

鹽	サ	カ	ヒ	コ	ニ
サ	ジ	ラ	イ		
バ	キ	メ	チ	ペ	
内	内	支	目	支	目
價數	價數	價數	價數	價數	價數	價數	價數
一、三〇	六、七五						
一、〇一四	五、七四	一、〇〇七					
八五	四、三五九	九九					
		一一〇	三、二六五				
			三、三〇八	四〇	三、四七九		
			三、三六五	一九八	三、四六〇	一、〇六八	五、四〇
			三、四七九	三四七	三、三六八	九五九	五、三八五
			三、五四二	三〇一	三、四七九	一、〇六八	五、四〇
			三、六〇五	三五九	三、五四二	一、一七四	五、五九八
			三、六六八	四一八	三、六〇五	一、二八〇	五、七五七
			三、七三一	四七七	三、六六八	一、三八五	五、九一六
			三、七九四	五三六	三、七三一	一、四九一	六、〇七五
			三、八五七	五九五	三、七九四	一、五九六	六、二三四
			三、九二〇	六五四	三、八五七	一、七〇二	六、三九三
			三、九八三	七一三	三、九二〇	一、八〇七	六、五五二
			四、〇四六	七七二	三、九八三	一、九一二	六、七一一
			四、一〇九	八三一	四、〇四六	二、〇一七	六、八七〇
			四、一七二	八九〇	四、一〇九	二、一二二	七、〇二九
			四、二三五	九四九	四、一七二	二、二二七	七、一八八
			四、二九八	一、〇〇八	四、二三五	二、三三二	七、三四七
			四、三六一	一、〇六七	四、二九八	二、四三七	七、五〇六
			四、四二四	一、一二六	四、三六一	二、五四二	七、六六五
			四、四八七	一、一八五	四、四二四	二、六四七	七、八二四
			四、五五〇	一、二四四	四、四八七	二、七五二	七、九八三
			四、六一三	一、三〇三	四、五五〇	二、八五七	八、一四二
			四、六七六	一、三六二	四、六一三	二、九六二	八、三〇一
			四、七三九	一、四二一	四、六七六	三、〇六七	八、四六〇
			四、八〇二	一、四八〇	四、七三九	三、一七二	八、六一九
			四、八六五	一、五三九	四、八〇二	三、二七七	八、七七八
			四、九二八	一、五九八	四、八六五	三、三八二	八、九三七
			四、九九一	一、六五七	四、九二八	三、四八七	九、〇九六
			五、〇五四	一、七一六	四、九九一	三、五九二	九、二五五
			五、一一七	一、七七五	五、〇五四	三、六九七	九、四一四
			五、一八〇	一、八三四	五、一一七	三、八〇二	九、五七三
			五、二四三	一、八九三	五、一八〇	三、九〇七	九、七三二
			五、三〇六	一、九五二	五、二四三	四、〇一二	九、八九一
			五、三六九	二、〇一一	五、三〇六	四、一一七	一〇、〇五〇
			五、四三二	二、〇七〇	五、三六九	四、二二二	一〇、二〇九
			五、四九五	二、一二九	五、四三二	四、三二七	一〇、三六八
			五、五五八	二、一八八	五、四九五	四、四三二	一〇、五二七
			五、六二一	二、二四七	五、五五八	四、五三七	一〇、六八六
			五、六八四	二、三〇六	五、六二一	四、六四二	一〇、八四五
			五、七四七	二、三六五	五、六八四	四、七四七	一一、〇〇四
			五、八一〇	二、四二四	五、七四七	四、八五二	一一、一六三
			五、八七三	二、四八三	五、八一〇	四、九五七	一一、三二二
			五、九三六	二、五四二	五、八七三	五、〇六二	一一、四八一
			五、九九九	二、六〇一	五、九三六	五、一六七	一一、六四〇
			六、〇六二	二、六六〇	五、九九九	五、二七二	一一、七九九
			六、一二五	二、七一九	六、〇六二	五、三七七	一一、九五八
			六、一八八	二、七七八	六、一二五	五、四八二	一二、一一七
			六、二五一	二、八三七	六、一八八	五、五八七	一二、二七六
			六、三一四	二、八九六	六、二五一	五、六九二	一二、四三五
			六、三七七	二、九五五	六、三一四	五、七九七	一二、五九四
			六、四四〇	三、〇一四	六、三七七	五、九〇二	一二、七五三
			六、五〇三	三、〇七三	六、四四〇	六、〇〇七	一二、九一二
			六、五六六	三、一三二	六、五〇三	六、一一二	一三、〇七一
			六、六二九	三、一九一	六、五六六	六、二一七	一三、二三〇
			六、六九二	三、二五〇	六、六二九	六、三二二	一三、三八九
			六、七五五	三、三〇九	六、六九二	六、四二七	一三、五四八
			六、八一八	三、三六八	六、七五五	六、五三二	一三、七〇七
			六、八八一	三、四二七	六、八一八	六、六三七	一三、八六六
			六、九四四	三、四八六	六、八八一	六、七四二	一四、〇二五
			七、〇〇七	三、五四五	六、九四四	六、八四七	一四、一八四
			七、〇七〇	三、六〇四	七、〇〇七	六、九五二	一四、三四三
			七、一三三	三、六六三	七、〇七〇	七、〇五七	一四、五〇二
			七、一九六	三、七二二	七、一三三	七、一六二	一四、六六一
			七、二五九	三、七八一	七、一九六	七、二六七	一四、八二〇
			七、三二二	三、八四〇	七、二五九	七、三七二	一四、九七九
			七、三八五	三、八九九	七、三二二	七、四七七	一五、一三八
			七、四四八	三、九五八	七、三八五	七、五八二	一五、二九七
			七、五一一	四、〇一七	七、四四八	七、六八七	一五、四五六
			七、五七四	四、〇七六	七、五一一	七、七九二	一五、六一五
			七、六三七	四、一三五	七、五七四	七、八九七	一五、七七四
			七、七〇〇	四、一九四	七、六三七	八、〇〇二	一五、九三三
			七、七六三	四、二五三	七、七〇〇	八、一〇七	一六、〇九二
			七、八二六	四、三一二	七、七六三	八、二一二	一六、二五一
			七、八八九	四、三七一	七、八二六	八、三一七	一六、四一〇
			七、九五二	四、四三〇	七、八八九	八、四二二	一六、五六九
			八、〇一五	四、四八九	七、九五二	八、五二七	一六、七二八
			八、〇七八	四、五四八	八、〇一五	八、六三二	一六、八八七
			八、一四一	四、六〇七	八、〇七八	八、七三七	一七、〇四六
			八、二〇四	四、六六六	八、一四一	八、八四二	一七、二〇五
			八、二六七	四、七二五	八、二〇四	八、九四七	一七、三六四
			八、三三〇	四、七八四	八、二六七	九、〇五二	一七、五二三
			八、三九三	四、八四三	八、三三〇	九、一五七	一七、六八二
			八、四五六	四、九〇二	八、三九三	九、二六二	一七、八四一
			八、五一九	四、九六一	八、四五六	九、三六七	一八、〇〇〇
			八、五八二	五、〇二〇	八、五一九	九、四七二	一八、一五九
			八、六四五	五、〇七九	八、五八二	九、五七七	一八、三一八
			八、七〇八	五、一三八	八、六四五	九、六八二	一八、四七七
			八、七七一	五、一九七	八、七〇八	九、七八七	一八、六三六
			八、八三四	五、二五六	八、七七一	九、八九二	一八、七九五
			八、八九七	五、三一五	八、八三四	九、九九七	一八、九五四
			八、九六〇	五、三七四	八、八九七	一〇、一〇二	一九、一一三
			九、〇二三	五、四三三	八、九六〇	一〇、二〇七	一九、二七二
			九、〇八六	五、四九二	九、〇二三	一〇、三一二	一九、四三一
			九、一四九	五、五五一	九、〇八六	一〇、四一七	一九、五九〇
			九、二一二	五、六一〇	九、一四九	一〇、五二二	一九、七四九
			九、二七五	五、六六九	九、二一二	一〇、六二七	一九、九〇八
			九、三三八	五、七二八	九、二七五	一〇、七三二	二〇、〇六七
			九、四〇一	五、七八七	九、三三八	一〇、八三七	二〇、二二六
			九、四六四	五、八四六	九、四〇一	一〇、九四二	二〇、三八五
			九、五二七	五、九〇五	九、四六四	一一、〇四七	二〇、五四四
			九、五九〇	五、九六四	九、五二七	一一、一五二	二〇、七〇三
			九、六五三	六、〇二三	九、五九〇	一一、二五七	二〇、八六二
			九、七一六	六、〇八二	九、六五三	一一、三六二	二一、〇二一
			九、七七九	六、一四一	九、七一六	一一、四六七	二一、一八〇
			九、八四二	六、二〇〇	九、七七九	一一、五七二	二一、三三九
			九、九〇五	六、二五九	九、八四二	一一、六七七	二一、四九八
			九、九六八	六、三一八	九、九〇五	一一、七八二	二一、六五七
			一〇、〇三一	六、三七七	九、九六八	一一、八八七	二一、八一六
			一〇、〇九四	六、四三六	一〇、〇三一	一一、九九二	二一、九七五
			一〇、一五七	六、四九五	一〇、〇九四	一二、〇九七	二二、一三四
			一〇、二二〇	六、五五四	一〇、一五七	一二、二〇二	二二、二九三
			一〇、二八三	六、六一三	一〇、二二〇	一二、三〇七	二二、四五二
			一〇、三四六	六、六七二	一〇、二八三	一二、四一二	二二、六一一
			一〇、四〇九	六、七三一	一〇、三四六	一二、五一七	二二、七七〇
			一〇、四七二	六、七九〇	一〇、四〇九	一二、六二二	二二、九二九
			一〇、五三五	六、八四九	一〇、四七二	一二、七二七	二三、〇八八
			一〇、五九八	六、九〇八	一〇、五三五	一二、八三二	二三、二四七
			一〇、六六一	六、九六七	一〇、五九八	一二、九三七	二三、四〇六
			一〇、七二四	七、〇二六	一〇、六六一	一三、〇四二	二三、五六五
			一〇、七八七	七、〇八五	一〇、七二四	一三、一四七	二三、七二四
			一〇、八五〇	七、一四四	一〇、七八七	一三、二五二	二三、八八三
			一〇、九一三	七、二〇三	一〇、八五〇	一三、三五七	二四、〇四二
			一〇、九七六	七、二六二	一〇、九一三	一三、四六二	二四、二〇一
			一一、〇三九	七、三二一	一〇、九七六	一三、五六七	二四、三六〇
			一一、一〇二	七、三八〇	一一、〇三九	一三、六七二	二四、五一九
			一一、一六五	七、四三九	一一、一〇二	一三、七七七	二四、六七八
			一一、二二八	七、四九八	一一、一六五	一三、八八二	二四、八三七
			一一、二九一	七、五五七	一一、二二八	一三、九八七	二四、九九六
			一一、三五四	七、六一六	一一、二九一	一四、〇九二	二五、一五五
			一一、四一七	七、六七五	一一、三五四	一四、一九七	二五、三一四
			一一、四八〇	七、七三四	一一、四一七	一四、三〇二	二五、四七三
			一一、五四三	七、七九三	一一、四八〇	一四、四〇七	二五、六三二
			一一、六〇六	七、八五二	一一、五四三	一四、五一二	二五、七九一
			一一、六六九	七、九一一	一一、六〇六	一四、六一七	二五、九五〇
			一一、七三二	七、九七〇	一一、六六九	一四、七二二	二六、一〇九
			一一、七九五	八、〇二九	一一、七三二	一四、八二七	二六、二六八
			一一、八五八	八、〇八八	一一、七九五	一四、九三二	二六、四二七
			一一、九二一	八、一四七	一一、八五八	一五、〇三七	二六、五八六
			一一、九八四	八、二〇六	一一、九二一	一五、一四二	二六、七四五
			一二、〇四七	八、二六五	一一、九八四	一五、二四七	二六、九〇四
			一二、一一〇	八、三二四	一二、〇四七	一五、三五二	二七、〇六三
			一二、一七三	八、三八三	一二、一一〇	一五、四五七	二七、二二二
			一二、二三六	八、四四二	一二、一七三	一五、五六二	二七、三八一
			一二、二九九	八、五〇一	一二、二三六	一五、六六七	二七、五四〇
			一二、三六二	八、五六〇	一二、二九九	一五、七七二	二七、六九九
			一二、四二五	八、六一九	一二、三六二	一五、八七七	二七、八五八
			一二、四八八	八、六七八	一二、四二五	一五、九八二	二八、〇一七
			一二、五五一	八、七三七	一二、四八八	一六、〇八七	二八、一七六
			一二、六一四	八、七九六	一二、五五一	一六、一九二	二八、三三五
			一二、六七七	八、八五五	一二、六一四	一六、二九七	二八、四九四
			一二、七四〇	八、九一四	一二、六七七	一六、四〇二	二八、六五三
			一二、八〇三	八、九七三	一二、七四〇	一六、五〇七	二八、八一二
			一二、八六六	九、〇三二	一二、八〇三	一六、六一二	二八、九七一
			一二、九二九	九、〇九一	一二、八六六	一六、七一七	二九、一三〇
			一二、九九二	九、一五〇	一二、九二九	一六、八二二	二九、二八九
			一三、〇五五	九、二〇九	一二、九九二	一六、九二七	二九、四四八
			一三、一一八	九、二六八	一三、〇五五	一七、〇三二	二九、六〇七
			一三、一八一	九、三二七	一三、一一八	一七、一三七	二九、七六六
			一三、二四四	九、三八六	一三、一八一	一七、二四二	二九、九二五
			一三、三〇七	九、四四五	一三、二四四	一七、三四七	三〇、〇八四
			一三、三七〇	九、五〇四	一三、三〇七	一七、四五二	三〇、二四三
			一三、四三三	九、五六三	一三、三七〇	一七、五五七	三〇、四〇二
			一三、四九六	九、六二二	一三、四三三	一七、六六二	三〇、五六一
			一三、五五九	九、六八一	一三、四九六	一七、七六七	三〇、七二〇
			一三、六二二	九、七四〇	一三、五五九	一七、八七二	三〇、八七九
			一三、六八五	九、七九九	一三、六二二	一七、九七七	三一、〇三八
			一三、七四八	九、八五八	一三、六八五	一八、〇八二	三一、一九七
			一三、八一一	九、九一七	一三、七四八	一八、一八七	三一、三五六
			一三、八七四	九、九七六	一三、八一一	一八、二九二	三一、五一五
			一三、九三七	一〇、〇三五	一三、八七四	一八、三九七	三一、六七四
			一四、〇〇〇	一〇、〇九四	一三、九三七	一八、五〇二	三一、八三三
			一四、〇六三	一〇、一五三	一四、〇〇〇	一八、六〇七	三一、九九二
			一四、一二六	一〇、二一二	一四、〇六三	一八、七一二	三二、一五一
			一四、一八九	一〇、二七一	一四、一二六	一八、八一七	三二、三一〇
			一四、二五二	一〇、三三〇	一四、一八九	一八、九二二	三二、四六九
			一四、三一五	一〇、三八九	一四、二五二	一九、〇二七	三二、六二八
			一四、三七八	一〇、四四八	一四、三一五	一九、一三二	三二、七八七
			一四、四四一	一〇、五〇七	一四、三七八	一九、二三七	三二、九四六
			一四、五〇四	一〇、五六六	一四、四四一	一九、三四二	三三、一〇五
			一四、五六七	一〇、六二五	一四、五〇四	一九、四四七	三三、二六四
			一四、六三〇	一〇、六八四	一四、五六七	一九、五五二	三三、四二三
			一四、六九三	一〇、七四三	一四、六三〇	一九、六五七	三三、五八二
			一四、七五六	一〇、八〇二	一四、六九三	一九、七六二	三三、七四一
			一四、八一九	一〇、八六一	一四、七五六	一九、八六七	三三、九〇〇
			一四、八八二	一〇、九二〇	一四、八一九	一九、九七二	三四、〇五九
			一四、九四五	一〇、九七九	一四、八八二	二〇、〇七七	三四、二一八
			一五、〇〇八	一一、〇三八	一四、九四五	二〇、一八二	三四、三七七
			一五、〇七一	一一、〇九七	一五、〇〇八	二〇、二八七	三四、五三六
			一五、一三四	一一、一五六	一五、〇七一	二〇、三九二	三四、六九五
			一五、一九七	一一、二一五	一五、一三四	二〇、四九七	三四、八五四
			一五、二六〇	一一、二七四	一五、一九七	二〇、六〇二	三五、〇一三
			一五、三二三	一一、三三三	一五、二六〇	二〇、七〇七	三五、一七二
			一五、三八六	一一、三九二	一五、三二三	二〇、八一二	三五、三三一
			一五、四四九	一一、四五一	一五、三八六	二〇、九一七	三五、四九〇
			一五、五一二	一一、五一〇	一五、四四九	二一、〇二二	三五、六四九
			一五、五七五	一一、五六九	一五、五一二	二一、一二七	三五、八〇八
			一五、六三八	一一、六二八	一五、五七五	二一、二三二	三五、九六七
			一五、七〇一	一一、六八七	一五、六三八	二一、三三七	三六、一二六
			一五、七六四	一一、七四六	一五、七〇一	二一、四四二	三六、二八五
			一五、八二七	一一、八〇五	一五、七六四	二一、五四七	三六、四四四
			一五、八九〇	一一、八六四	一五、八二七	二一、六五二	三六、六〇三
			一五、九五三	一一、九二三	一五、八九〇	二一、七五七	三六、七六二
			一六、〇一六	一一、九八二	一五、九五三	二一、八六二	三六、九二一
			一六、〇七九	一二、〇四一	一六、〇一六	二一、九六七	三七、〇八〇
			一六、一四二	一二、一〇〇	一六、〇七九	二二、〇七二	三七、二三九
			一六、二〇五	一二、一五九	一六、一四二	二二、一七七	三七、三九八
			一六、二六八	一二、二一八	一六、二〇五	二二、二八二	三七、五五七
			一六、三三一	一二、二七七	一六、二六八	二二、三八七	三七、七一六
			一六、三九四	一二、三三六	一六、三三一	二二、四九二	三七、八七五
			一六、四五七	一二、三九五	一六、三九四	二二、五九七	三八、〇三四
			一六、五二〇	一二、四五四	一六、四五七	二二、七〇二	三八、一九三
			一六、五八三	一二、五一三	一六、五二〇	二二、八〇七	三八、三五二
			一六、六四六	一二、五七二	一六、五八三	二二、九一二	三八、五一一
			一六、七〇九	一二、六三一	一六、六四六	二三、〇一七	三八、六七〇
			一六、七七二	一二、六九〇	一六、七〇九	二三、一二二	三八、八二九
			一六、八三五	一二、七四九	一六、七七二	二三、二二七	三八、九八八
			一六、八九八	一二、八〇八	一六、八三五	二三、三三二	三九、一四七
			一六、九六一	一二、八六七	一六、八九八	二三、四三七	三九、三〇六
			一七、〇二四	一二、九二六	一六、九六一	二三、五四二	三九、四六五
			一七、〇八七	一二、九八五	一七、〇二四	二三、六四七	三九、六二四
			一七、一五〇	一三、〇四四	一七、〇八七	二三、七五二	三九、七八三
			一七、二一三	一三、一〇三	一七、一五〇	二三、八五七	三九、九四二
			一七、二七六	一三、一六二	一七、二一三	二三、九六二	四〇、一〇一
			一七、三三九	一三、二二一	一七、二七六	二四、〇六七	四〇、二六〇
			一七、四〇二	一三、二八〇	一七、三三九	二四、一七二	四〇、四一九
			一七、四六五	一三、三三九	一七、四〇二	二四、二七七	四〇、五七八
			一七、五二八	一三、三九八	一七、四六五	二四、三八二	四〇、七三七
			一七、五九一	一三、四五七	一七、五二八	二四、四八七	四〇、八九六
			一七、六五四	一三、五一六	一七、五九一	二四、五九二	四一、〇五五
			一七、七一七	一三、五七五	一七、六五四	二四、六九七	四一、二一四
			一七、七八〇	一三、六三四	一七、七一七	二四、八〇二	四一、三七三
			一七、八四三	一三、六九三	一七、七八〇	二四、九〇七	四一、五三二
			一七、九〇六	一三、七五二	一七、八四三	二五、〇一二	四一、六九一
			一七、九六九	一三、八一一	一七、九〇六	二五、一一七	四一、八五〇
			一八、〇三二	一三、八七〇	一七、九六九	二五、二二二	四二、〇〇九
			一八、〇九五	一三、九二九	一八、〇三二	二五、三二七	四二、一六八
			一八、一五八	一三、九八八	一八、〇九五	二五、四三二	四二、三二七
			一八、二二一	一四、〇四七	一八、一五八	二五、五三七	四二、四八六
			一八、二八四	一四、一〇六	一八、二二一	二五、六四二	四二、六四五
			一八、三四七	一四、一六五	一八、二八四	二五、七四七	四二、八〇四
			一八、四一〇	一四、二二四	一八、三四七	二五、八五二	四二、九六三
			一八、四七三	一四、二八三	一八、四一〇	二五、九五七	四三、一二二
			一八、五三六	一四、三四二	一八、四七三	二六、〇六二	四三、二八一
			一八、五九九	一四、四〇一	一八、五三六	二六、一六七	四三、四四〇
			一八、六六二	一四、四六〇	一八、五九九	二六、二七二	四三、五九九
			一八、七二五	一四、五一九	一八、六六二	二六、三七七	四三、七五八
			一八、七八八	一四、五七八	一八、七二五	二六、四八二	四三、九一七
			一八、八五一	一四、六三七	一八、七八八	二六、五八七	四四、〇七六
			一八、九一四	一四、六九六	一八、八五一	二六、六九二	四四、二三五
			一八、九七七	一四、七五五	一八、九一四	二六、七九七	四四、三九四
			一九、〇四〇	一四、八一四	一八、九七七	二六、九〇二	四四、五五三
			一九、一〇三	一四、八七三	一九、〇四〇	二七、〇〇七	四四、七一二
			一九、一六六	一四、九三二	一九、一〇三	二七、一一二	四四、八七一
			一九、二二九	一四、九九一	一九、一六六	二七、二一七	四五、〇三〇
			一九、二九二	一五、〇五〇	一九、二二九	二七、三二二	四五、一八九
			一九、三五五	一五、一〇九	一九、二九二	二七、四二七	四五、三四八
			一九、四一八	一五、一六八	一九、三五五	二七、五三二	四五、五〇七
			一九、四八一	一五、二二七	一九、四一八	二七、六三七	四五、六六六
			一九、五四四	一五、二八六	一九、四八一	二七、七四二	四五、八二五
			一九、六〇七	一五、三四五	一九、五四四	二七、八四七	四五、九八四
			一九、六七〇	一五、四〇四	一九、六〇七	二七、九五二	四六、一四三
			一九、七三三	一五、四六三	一九、六七〇	二八、〇五七	四六、三〇二
			一九、七九六	一五、五二二	一九、七三三	二八、一六二	四六、四六一
			一九、八五九	一五、五八一	一九、七九六	二八、二六七	四六、六二〇
			一九、九二二	一五、六四〇	一九、八五九	二八、三七二	四六、七七九
			一九、九八五	一五、六九九	一九、九二二	二八、四七七	四六、九三八
			二〇、〇四八	一五、七五八	一九、九八五	二八、五八二	四七、〇九七
			二〇、一一一	一五、八一七	二〇、〇四八	二八、六八七	四七、二五六
			二〇、一七四	一五、八七六	二〇、一一一	二八、七九二	四七、四一五
			二〇、二三七	一五、九三五	二〇、一七四	二八、八九七	四七、五七四
			二〇、三〇〇	一五、九九四	二〇、二三七	二八、九九二	四七、七三三
			二〇、三六三	一六、〇五三	二〇、三〇〇	二九、〇九七	四七、八九二
			二〇、四二六	一六、一一二	二〇、三六三	二九、二〇二	四八、〇五一
			二〇、四八九	一六、一七一	二〇、四二六	二九、三〇七	四八、二一〇
			二〇、五五二	一六、二三〇	二〇、四八九	二九、四一二	四八、三六九
			二〇、六一五	一六、二八九	二〇、五五二	二九、五一七	四八、五二八
			二〇、六七八	一六、三四八	二〇、六一五	二九、六二二	四八、六八七
			二〇、七四一	一六、四〇七	二〇、六七八	二九、七二七	四八、八四六
			二〇、八〇四	一六、四六六	二〇、七四一	二九、八三二	四九、〇〇五
			二〇、八六七	一六、五二五	二〇、八〇四	二九、九三七	四九、一六四
			二〇、九三〇	一六、五八四	二〇、八六七	三〇、〇四二	四九、三二三
			二〇、九九三	一六、六四三	二〇、九三〇	三〇、一四七	四九、四八二
			二一、〇五六	一六、七〇二	二〇、九九三	三〇、二五二	四九、六四一
			二一、一一九	一六、七六一	二一、〇五六	三〇、三五七	四九、八〇〇
			二一、一八二	一六、八二〇	二一、一一九	三〇、四六二	四九、九五九
			二一、二四五	一六、八七九	二一、一八二	三〇、五六七	五〇、一一八
			二一、三〇八	一六、九三八	二一、二四五	三〇、六七二	五〇、二七七
			二一、三七一	一六、九九七	二一、三〇八	三〇、七七七	五〇、四三六
			二一、四三四	一七、〇五六	二一、三七一	三〇、八八二	五〇、五九五
			二一、四九七	一七、一一五	二一、四三四	三〇、九八七	五〇、七五四
			二一、五六〇	一七、一七四	二一、四九七	三一、〇九二	五〇、九一三
			二一、六二三	一七、二三三	二一、五六〇	三一、一九七	五一、〇七二
			二一、六八六	一七、二九二	二一、六二三	三一、三〇二	五一、二三一
			二一、七四九	一七、三五一	二一、六八六	三一、四〇七	五一、三九〇
			二一、八一二	一七、四一〇	二一、七四九	三一、五一二	五一、五四九
			二一、八七五	一七、四六九	二一、八一二	三一、六一七	五一、七〇八
			二一、九三八	一七、五二八	二一、八七五	三一、七二二	五一、八六七
			二一、九九一	一七、五八七	二一、九三八	三一、八二七	五二、〇二六
			二二、〇四四	一七、六四六	二一、九九一	三一、九三二	五二、一八五
			二二、〇九七	一七、七〇五	二二、〇四四	三二、〇三七	五二、三四四
			二二、一五〇	一七、七六四	二二、〇九七	三二、一四二	五二、五〇三
			二二、二〇三	一七、八二三	二二、一五〇	三二、二四七	五二、六六二
			二二、二六六	一七、八八二	二二、二〇三	三二、三五二	五二、八二一
			二二、三二九	一七、九四一	二二、二六六	三二、四五七	五二、九八〇
			二二、三九二	一七、九九八	二二、三二九	三二、五六二	五三、一四七
			二二、四五五	一八、〇五五	二二、三九二	三二、六六七	五三、三〇六
			二二、五一八	一八、一一二	二二、四五五	三二、七七二	五三、四六五
			二二、五八一	一八、一七一	二二、五一八	三二、八七七	五三、六二四
			二二、六四四	一八、二三〇	二二、五八一	三二、九八二	五三、七八三
			二二、七〇七	一八、二八九	二二、六四四	三三、〇八七	五三、九四二
			二二、七七〇	一八、三四八	二二、七〇七	三三、一九二	五四、一〇一
			二二、八三三	一八、四〇七	二二、七七〇	三三、二九七	五四、二六〇
			二二、八九六	一八、四六六	二二、八三三	三三、四〇二	五四、四一九
			二二、九五九	一八、五二五	二二、八九六	三三、五〇七	五四、五七八
			二三、〇二二	一八、五八四	二二、九五九	三三、六一二	五四、七三七
			二三、〇八五	一八、六四三	二





アナゴ				フカ		エビ				大エビ		イセエビ		イカ		甲イカ	
支		內		日		日		支		日		內		內		支	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
—	—	—	—	一、四八四	九〇一	七七	二九四	—	—	—	—	—	—	一三〇	二六〇	—	—
—	—	—	—	六三七	三九〇	五七	二五〇	—	—	—	—	—	—	七七	一五四	—	—
—	—	一一六	二〇六	—	—	二、一一一	七、五八八	一二六	四四一	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	二〇	三〇	—	—	一九六	六〇一	一〇〇	二六四	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	四〇	四八	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	一五
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	七六〇	三〇四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	一、七九六	七〇七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	二、七五八	一、五二九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三八	四二	—	—	二、五五二	一、七四四	—	—	—	—	—	—	—	—	四〇	一〇〇	—	—
—	—	—	—	七七三	五九〇	二、三〇五	七、一四三	—	—	一一五	四六〇	四〇	二八〇	—	—	—	—
三八	四二	一三六	二三六	一〇、七五九	六、一六五	四、七四六	一五、八七六	二六六	七五三	一一五	四六〇	四〇	二八〇	二四七	五一四	二	一五

		小ニベ		ハモ				コチ		エイ		エソ		ボラ		クツラ	
內		日		日		支		日		日		日		支		內	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
一八五	四六四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九	四八六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二三七	五三六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	五五	三三	—	—	—	—	—	—	—	—	三	三一	—	—
—	—	—	—	五三五	六七七	—	—	一一	八八	二五八	六〇七	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	二、四二四	二、四四二	一〇	一三	九〇	六三	三、九一〇	九八九	—	—	—	—	—	—
四一	一〇〇	—	—	四、四八六	三、五〇四	六〇	四八	一八〇	一〇八	六、七九九	二、一〇七	—	—	—	—	—	—
三一九	八九九	一、八二三	一、五九三	四三〇	四七三	—	—	二、二七五	一、二三四	六、〇二〇	二、二〇六	五四四	三三〇	—	—	四〇	一〇〇
九六一	二、四八五	一、八二三	一、五九三	七、九三〇	七、一三九	七〇	六〇	二、五五六	一、四八三	一六、九八七	五、九〇九	五四四	三三〇	三	三一	四〇	一〇〇

ナマコ 支 數	ナマコ 支 價	ニシン 支 數	ニシン 支 價	蛤 支 數	蛤 支 價	アワビ 日 數	アワビ 日 價	アワビ 支 數	アワビ 支 價	カニ 支 數	カニ 支 價	ウナギ 支 數	ウナギ 支 價	雜魚 日 數	雜魚 日 價	雜魚 支 數	雜魚 支 價
二〇三	二五七	三七	四一	二八	三四	—	—	二四	三九	—	—	—	—	二、一一三	一、一四九	二九七	二三六
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、五六五	一、二六三	一一一	九〇
三〇	二四	—	—	—	—	—	—	五	三三	—	—	—	—	二、七四一	一、三三三	三三三	二六六
三〇	一八	一六六	一六六	二八	二〇	二四	八二	二九	一二	一〇	一三	八	一六	二、三三三	一、一一一	五四一	四一九
—	—	七四	七四	—	—	八五	三二九	一六	五六	—	—	二六	五〇	一、七〇六	一、一五三	七三二	六二五
—	—	一一	一七	—	—	一五九	六九三	—	—	—	—	四九〇	一、四八五	一、五七三	一、〇五六	六六〇	四八三
—	—	二九二	三九九	—	—	一六九	九〇〇	—	—	—	—	一、八三四	四、八八〇	九九九	八五一	七三五	四七二
—	—	一〇三	一四三	—	—	一三八	七三八	一四	七七	—	—	一、六二〇	三、四六九	一、四六〇	一、〇二八	一、〇二七	八三四
—	—	五五	七六	—	—	三八	三三四	一五	一〇九	—	—	七九二	一、七七九	一、八三七	一、二〇二	八三三	六六六
—	—	七五	九六	七〇	六三	—	—	五二	四〇七	—	—	四一六	八八七	二、〇一五	八四二	九六一	七二九
八二五	六二三	一〇九	一三六	一六七	一八六	—	—	一二三	一七七	—	—	四〇	八〇	一、六八七	六六五	八五八	六一六
五六七	四一八	—	—	—	—	—	—	四〇	二五五	—	—	—	—	二、五二〇	一、一七二	六七六	五四二
一、六五五	一、三四〇	九二三	一、一三八	二九三	三〇三	六一三	二、九六六	二一八	一、三五四	一〇	一三	五、二一六	三、六四六	二三、五四八	一三、八二四	七、七五三	五、九六八

內 數	內 價	合計 日 數	合計 日 價	合計 支 數	合計 支 價	合計 內 數	合計 內 價	總計 數	總計 價
一八一	三〇〇	七〇、六三〇	三三、一三一	六五九	七七一	三、七一〇	一一、二四三	七四、九九九	四五、一四五
一四八	二九四	九五、四四五	四二、四一七	一一一	九〇	三、〇六六	九、七七一	九八、六二三	五二、二七八
一四九	三七六	七六、六七七	五七、七八七	二、三四三	一、六二四	三、一一二	一〇、一九九	八二、一三二	六九、六一〇
一九	三八	六一、〇三七	四五、七〇四	二、一八三	二、二六三	二六六	七五五	六三、四八六	四八、七三二
—	—	三七、二〇四	三八、一五八	四、七〇五	三、七〇九	—	—	四一、九〇九	四一、八六七
—	—	三一、三四七	三五、八九四	三、〇〇四	四、六九一	—	—	三四、三五一	四〇、五八五
—	—	一一、二九六	一七、三四一	五、九四九	一〇、八〇〇	—	—	一七、二四五	二八、一四一
—	—	一六、二六四	二〇、二七一	八、四八〇	一一、五二五	—	—	二四、七四四	三一、七九六
—	—	二三、五二七	二九、八七六	七、三三八	一一、六〇〇	—	—	三〇、八六五	四一、四七六
三〇	七四	四三、四二六	四二、八四二	四、四一四	五、七九三	五八八	二、三五六	四八、四二八	五〇、九九一
一六七	二七七	六九、八四六	五二、〇一〇	三、一〇四	三、〇七六	二、二四一	七、四四二	七五、一九一	六二、五二八
二六一	四八〇	七二、五四四	一〇〇、五四七	一、五七七	一、五三〇	一、二九八	二四、九九〇	七六、四一九	一二七、〇六七
九五五	一、八三九	七〇九、二四三	五一四、九七八	四三、八六七	五七、四七二	二五、二八一	六六、七五六	七七八、三九一	六四〇、二〇六

備考 （單位……貫 圓）

總計 數量 七十七萬八千三百九十一貫

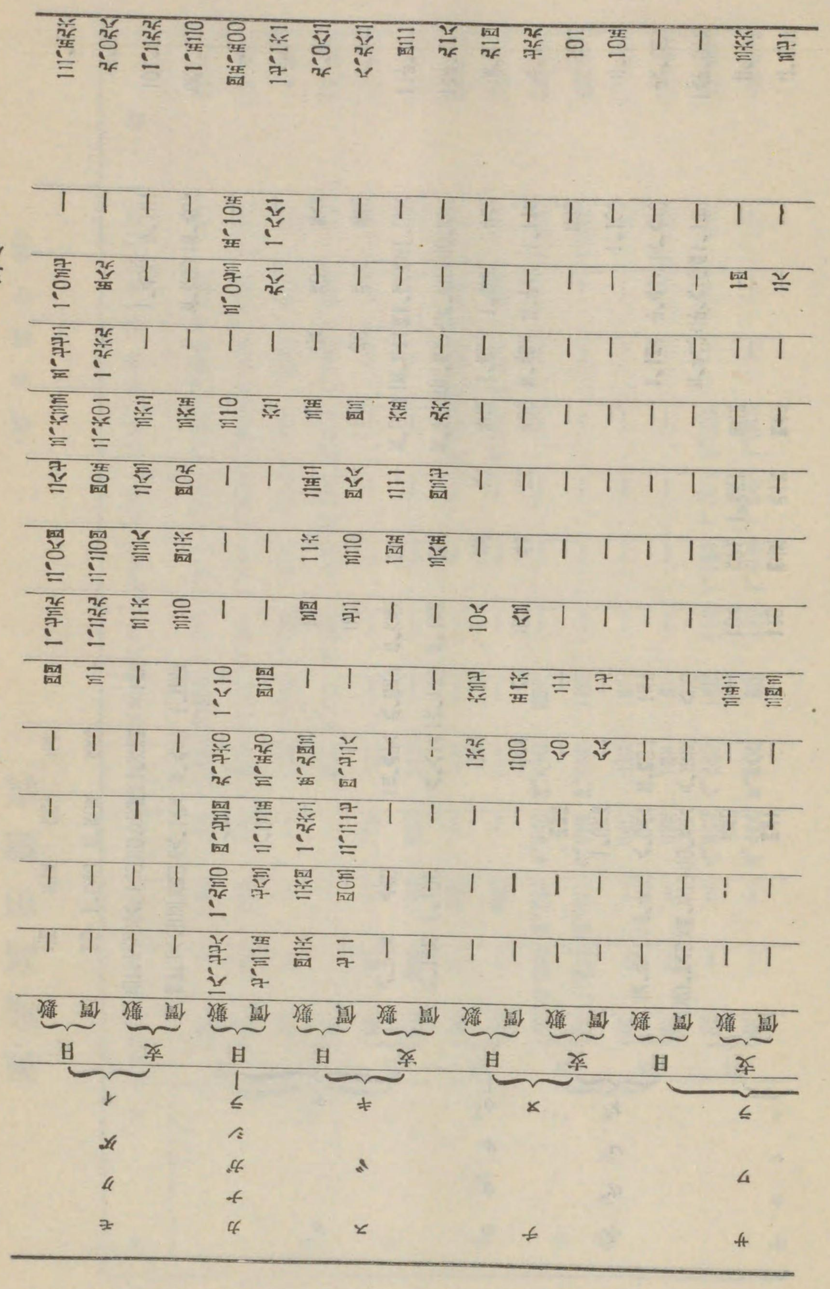
總計 金額 六十四萬二百六圓

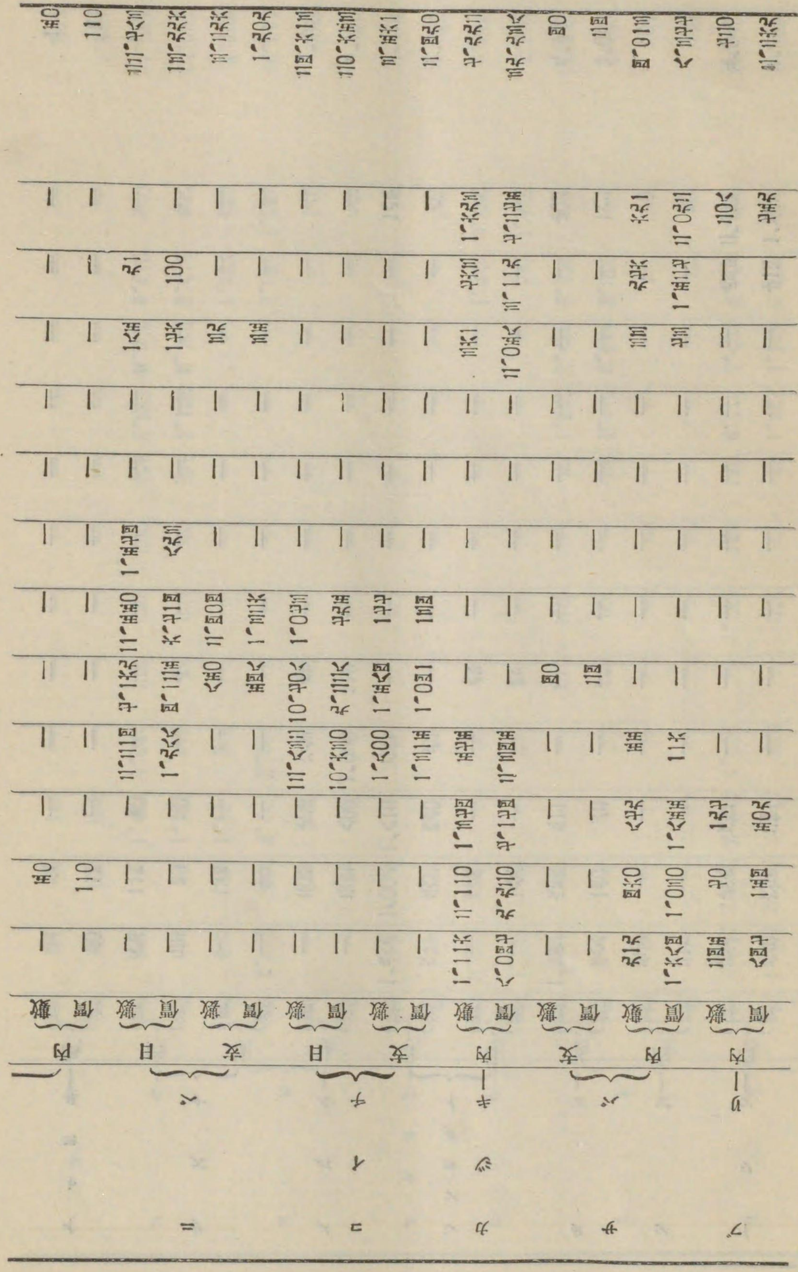
漁獲高明細表

（昭和四年度）

品目	區別		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
タイ	日	數	一	一九五	一二七	一、〇九五	一五、三九九	一五、七二〇	二、四一八	二、九九八	二三、七四八	二八、四九六	六、六五三	八八一	九六、六三一
		價	三三	七八〇	二一六	三、三六三	三二、六七九	一七、四九八	四、二三七	五、六六七	三〇、七六三	三二、六八五	一〇、三八四	二、六〇八	一三〇、九〇三
	支	數	—	—	—	一五二	二、二八六	一、七四三	三七九	六〇八	二、三二九	九七〇	九六三	一六	九、四四六
		價	—	—	—	三二六	三、一三三	二、〇七九	八九四	一、一五八	三、七六一	一、一七三	一、四三三	八〇	一四、〇三六
	内	數	三一	一一	六三	二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	一二五
		價	二三九	七七	五四〇	一一〇	—	—	—	—	—	—	—	—	九六六
小タイ	日	數	—	二三〇	—	—	—	—	—	—	九、九〇〇	三〇、四五七	三、四一六	—	四三、九九八
		價	—	五五〇	—	—	—	—	—	—	四、三五八	一三、〇七九	一、九一七	—	一九、九〇四
大カレイ	日	數	一〇、〇三九	四、六六七	七、七八〇	四、八一〇	三四七	—	—	—	—	—	—	一、〇三九	二八、六八二
		價	一一、〇三一	四、七二一	六、七三四	四、六三九	一九三	—	—	—	—	—	—	一、六八四	二九、〇〇二
	支	數	—	—	二九〇	二四三	五二	—	—	—	—	—	—	三〇	六一五
		價	—	—	二七三	一四七	四一	—	—	—	—	—	—	四五	五一六
中カレイ	日	數	—	—	八、五八七	八、九九〇	一五〇	一一九	一、一四七	一、〇〇〇	一、〇〇五	—	—	—	二〇、九九八
		價	—	—	五、八八八	五、四八八	六〇	一一五	一、六〇五	一、四九七	一、〇六三	—	—	—	一五、七一六

品目	區別		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
中カレイ	支	數	—	—	四五一	—	—	一一〇	四二三	九一六	四九七	—	—	—	二、四〇七
		價	—	—	三三〇	—	—	一〇八	六七一	一、三六一	五二四	—	—	—	二、九九四
小カレイ	日	數	五〇、四九〇	三四、三七〇	二〇、五六八	八、二三三	八二〇	—	—	—	—	三、七八〇	二七、六一〇	四一、一四二	一八七、〇一三
		價	二五、六三一	一三、七三三	八、〇九六	三、四〇七	一五七	—	—	—	—	一、一四九	七、九一三	一八、九七〇	七八、〇四五
	支	數	—	—	一、〇六六	—	—	—	—	—	—	—	—	一、一〇〇	二、一三〇
		價	—	—	四四四	—	—	—	—	—	—	—	—	二三〇	六六四
ホウボウ	日	數	—	—	—	三八五	八〇	二四三	五五	六六	七〇〇	三、五四五	二、七九六	一、一一三	八、九八三
		價	—	—	—	二五三	四八	一一一	三九	六六	五二四	一、九六七	一、六三二	七八二	五、四二三
グチ	日	數	八、一七三	一、一〇〇	—	八、八一九	一六、一七七	五、一五四	九四三	—	五、一六〇	二三、四六一	六九、三二七	三〇、五三〇	一六七、八四四
		價	八、七六五	九九〇	—	一五、九七八	九、〇四七	二、六五五	六五一	—	三、〇一〇	一三、三一一	四一、六六六	二一、〇三八	一一七、一一一
	支	數	—	—	—	一五	—	二七九	三〇	—	一三一	四〇	九三八	五五〇	一、九八三
		價	—	—	—	一八	—	一五六	一二	—	九二	二八	五〇七	三八五	一、二〇七
	内	數	—	—	一、〇三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇三三
		價	—	—	一、四二六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、四二六
タラ	日	數	四〇、一八八	三三、三四〇	九九、一七五	五、九五七	一、二三五	—	—	—	—	—	五、六〇〇	一五、九〇六	二〇一、四〇一
		價	三三、七九五	三八、一二〇	三〇、二六四	一、六六四	一六三	—	—	—	—	—	一、八〇三	七、一三一	一〇一、九二九
	支	數	四〇	一、〇五〇	二、三〇五	六六〇	—	—	—	—	—	—	—	—	四、〇五五
		價	二四	三一五	六四七	二五三	—	—	—	—	—	—	—	—	一、二三九





モクダイ 日 數	モクダイ 日 價	モクダイ 支 數	モクダイ 支 價	カナガシラ 日 數	カナガシラ 日 價	スヾキ 日 數	スヾキ 日 價	スヾキ 支 數	スヾキ 支 價	チヌ 日 數	チヌ 日 價	チヌ 支 數	チヌ 支 價	サワラ 日 數	サワラ 日 價	サワラ 支 數	サワラ 支 價
—	—	—	—	一八、七七八	七、三一五	四二六	七二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	一、九三〇	七八三	二六四	四〇三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	四、七三四	二、一二五	一、九六三	二、二一七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	九、七六〇	三、五九〇	五、九四三	四、七二八	—	—	一六九	二〇〇	八〇	八八	—	—	—	—
四四	三一	—	—	一、八一〇	四二四	—	—	—	—	六三七	五一六	二一	一七	—	—	三五二	三四三
一、七三九	一、二九九	三一六	三三〇	—	—	三四	七二	—	—	一〇八	八三	—	—	—	—	—	—
二、〇八四	二、一〇四	三三八	四二六	—	—	一一六	三一〇	一四五	三八五	—	—	—	—	—	—	—	—
二八七	四〇五	二八三	四〇九	—	—	二五二	四八八	二一一	四三七	—	—	—	—	—	—	—	—
三、六三三	二、六〇一	三六二	三六五	三一〇	六二	三五	四三	六五	九六	—	—	—	—	—	—	—	—
三、七七二	一、九六九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一、〇三七	五八九	—	—	三、〇七三	九八一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四	二八
—	—	—	—	五、一〇五	一、八八一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一三、五九六	九、〇九八	一、二九九	一、五二〇	四五、五〇〇	一七、一六一	九、〇八二	八、九八二	四二二	九一八	九一四	七九九	一〇一	一〇五	—	—	三六六	三七一

內 數	內 價	ニベ 日 數	ニベ 日 價	ニベ 支 數	ニベ 支 價	コイチ 日 數	コイチ 日 價	コイチ 支 數	コイチ 支 價	カジキ 內 數	カジキ 內 價	サバ 支 數	サバ 支 價	サバ 內 數	サバ 內 價	ブリ 內 數	ブリ 內 價
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、一二六	八、〇四七	—	—	九一九	一、六八四	二四五	八四七
五〇	二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	二、一一〇	九、九二〇	—	—	四六〇	一、〇三〇	七〇	一五四
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、三七四	七、一七四	—	—	八七九	一、八五五	一九七	五〇九
—	—	二一、二一四	一、九八八	—	—	一三、八三二	一〇、六三〇	一、八〇〇	一、三一五	五七五	二、三四五	—	—	五五	一一六	—	—
—	—	七、一六九	四、一二五	八五〇	五四八	一〇、七〇八	九、三三八	一、五八四	一、〇四一	—	—	四〇	二四	—	—	—	—
—	—	二、五五〇	六、七一四	二、四〇四	一、三二六	一、〇七三	七九五	一七七	一三四	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	一、五七四	八九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	一八五	一七六	三九	三五	—	—	—	—	三六一	二、〇五八	—	—	三三	七三	—	—
—	—	九一	一〇〇	—	—	—	—	—	—	七六三	三、一一九	—	—	九七六	一、五二七	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、六九三	七、二七五	—	—	六九一	二、〇九二	二〇八	七五九
五〇	二〇	三二、七八三	一三、九九六	三、二九六	一、九〇九	二四、六一三	二〇、六五三	三、五六一	二、四九〇	七、九九二	三九、九三八	四〇	二四	四、〇一三	八、三七七	七二〇	二、二六九

イワシ		シビ		タコ		レンコタイ				メバル		クズナ				イトヨリ	
内		内		内		日		内		日		日		内		内	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
五五〇	七五九	二一二	五二九	五八八	一、一四二	—	—	六七一	一、九六九	—	—	—	—	二二	七三	三〇	七五
六二九	七九八	—	—	一九〇	六三六	一八八	五六四	三六二	一、〇〇九	二二三	二〇四	七七	一五四	四〇	一一六	一四	三五
二四一	三四一	—	—	九二	三一一	—	—	四九〇	一、八一〇	八〇〇	七二五	—	—	二〇	五〇	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	九二	三二一	一、〇二〇	六八七	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	四八	九六	—	—	一一〇	五五	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七一四	九五七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一、五五五	二、一七四	四〇	八〇	一八二	七〇四	—	—	六〇	一九四	—	—	—	—	—	—	—	—
三、六八九	五、〇二六	二五二	六〇九	一、〇五二	二、七九三	二三六	六六〇	一、六七五	五、三一三	二、一五三	一、六七一	七七	一五四	八二	二三九	四四	一一〇

アナゴ		フカ		エビ				イセエビ		コチ		ハモ				エトイ	
内		日		日		支		内		日		日		支		日	
數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價	數	價
一一〇	一九八	三九四	二八八	九二五	四、三三四	—	—	—	—	二、〇〇四	一、一一九	—	—	—	—	二、四八六	一、二四七
六〇	一〇五	—	—	一八七	九三九	—	—	—	—	九〇	四五	—	—	—	—	六、八五〇	二、〇五七
一五六	二三四	一、八五九	一、一三〇	一、一九二	五、七八五	六〇	三七〇	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇四四	二、一八〇
—	—	一、〇五九	五七〇	七六九	四、三七八	—	—	—	—	八六八	四二九	—	—	—	—	一、二四四	三五五
—	—	二四〇	四八	—	—	—	—	—	—	—	—	三一〇	一六〇	—	—	—	—
—	—	六三四	二二六	—	—	—	—	—	—	—	—	二八〇	一九九	—	—	一、三三〇	二六六
—	—	二三〇	二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四〇	二八
—	—	二六七	一〇七	—	—	—	—	—	—	—	—	五〇	三五	—	—	一五〇	三〇
—	—	二、三六一	一、一二三	—	—	—	—	—	—	—	—	一、四六四	一、一七八	—	—	五、六一〇	一、三九七
—	—	五、五二四	三、一六五	—	—	—	—	—	—	—	—	六、八四〇	三、九七八	—	—	六、八〇五	一、七二四
—	—	七、九一〇	四、八一七	一、三四八	二、二四三	—	—	—	—	一、四九八	六七一	七、一〇六	四、二四〇	一三六	六九	九、〇〇三	二、五五七
—	—	七八〇	五二六	六四二	一、六四三	一六〇	二八八	五	五〇	三、五三〇	一、七三九	—	—	—	—	一、四六〇	五一四
三二六	五三七	二二、二四八	一三、〇一〇	五、〇六三	一九、三一一	二二〇	六五八	五	五〇	七、九九〇	四、〇〇三	一六、〇五〇	九、七九〇	一三六	六九	三八、一一三	一三、三五五

甲イカ 內 數	甲イカ 內 價	ナマコ 日 數	ナマコ 日 價	ナマコ 支 數	ナマコ 支 價	蛤 支 數	蛤 支 價	アワビ 日 數	アワビ 日 價	アワビ 支 數	アワビ 支 價	カニ 支 數	カニ 支 價	ウナギ 支 數	ウナギ 支 價	雜魚 日 數	雜魚 日 價
五七七	一、三五〇	—	—	一二五	一二五	—	—	—	—	七	五〇	—	—	—	—	一、七六五	一、三〇二
二〇三	四八二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五八六	二八九
三五六	八七九	—	—	九六	一〇一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、四一七	一、五五九
五五	一一〇	二〇	二三	一三六	一〇六	二二	三三	五	四〇	三一	一八〇	三三	四六	—	—	二、三六一	一、三二八
—	—	—	—	—	—	—	—	六六	三八六	二六	一四八	—	—	三四三	六五二	二、四一五	二、二一三
—	—	—	—	—	—	—	—	一一〇	六八六	一〇	六六	—	—	九四三	一、四二八	一、五九二	一、一四七
—	—	—	—	—	—	—	—	九九	五九四	一〇	五四	—	—	一、〇八七	二、〇一八	八九二	七五〇
—	—	—	—	—	—	—	—	八九	四九三	三五	一七〇	—	—	五六〇	一、二一〇	九〇五	六六五
—	—	—	—	—	—	—	—	二九	一五三	一九	九七	—	—	四四八	六六九	二、〇九九	一、二三九
—	—	—	—	—	—	—	—	二二	一一〇	五五	二三二	—	—	三一六	三七八	二、八九二	一、六三二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七二	二四五	—	—	—	—	二、七九一	一、五三六
一八二	五六六	—	—	三六八	二七六	三	三	—	—	五	二三五	—	—	—	—	二、四一三	一、二七七
一、三七二	三、三八七	二〇	二三	七二五	六〇八	二五	三六	四一九	二、四六二	二七一	一、二六五	三三	四六	三、六九七	六、三五五	二三、一二八	一四、九三六

雜魚 支 數	雜魚 支 價	雜魚 內 數	雜魚 內 價	合計 日 數	合計 日 價	合計 支 數	合計 支 價	合計 內 數	合計 內 價	總計 數	總計 價
二三六	一七七	三五六	三八六	一三五、六六九	八四、五五八	四〇八	三七六	五、四二七	一七、二八七	一四一、五〇四	一〇二、二二一
八七	七二	一五三	三〇二	一七四、二八六	六三、三二一	一、一三七	三八七	四、三五一	一四、七七二	一七九、七七四	七八、四八〇
五四一	三七四	一八四	三五九	一五二、五四五	六六、九一九	四、七七四	二、五三八	五、〇七五	一五、四七九	一六二、三九四	八四、九三六
五八二	四六一	八三	一四一	七三、五五三	六三、七三六	三、七五四	二、九七三	八八〇	三、一五二	八一、一八七	六九、八六一
七二三	六一七	—	—	五七、七六五	四九、六二八	六、二七七	六、五六四	—	—	六四、〇四二	五六、一九二
七八一	六五〇	—	—	三九、六八六	三一、八六五	六、七六三	六、二六七	—	—	四六、四四九	三八、一三二
六一七	五二〇	—	—	九、六八八	一一、三三〇	三、〇二九	四、九九二	—	—	一二、七一七	一六、三二二
六二六	五〇九	—	—	六、〇六四	九、四五一	三、二四九	五、二五三	—	—	九、三一三	一四、七〇四
九五八	七四二	—	—	五五、〇五四	四七、五一二	四、八〇九	六、三四三	—	—	五九、八六三	五三、八五五
七七二	六一六	九二	一七五	二四、七七八	七四、九四三	二、一九二	二、四六二	四八六	二、三〇五	二七、四五六	七九、七一〇
八〇四	四九九	一四八	二六八	一四九、二五九	八三、〇四九	二、九一八	二、七七九	二、六五一	五、八七〇	一五四、七七八	九一、六九八
五六六	三八七	四九五	六七八	一〇四、五四一	五九、七八四	二、七九九	一、七〇七	五、一一一	一四、五七一	一一二、四五一	七六、〇六二
七、二九三	五、六二三	一、五三一	二、三〇九	一、〇七五、八八八	六四六、〇九六	四二、一〇九	四二、六四一	二三、九三一	七三、四三六	一、一四一、九二八	七六二、一七五

備考　（單位 貫……圓）

總計｛數量　壹百拾四萬壹千九百貳拾八貫
　　　金額　金七拾六萬貳千百七拾五圓

第九　輸移出品

膠州灣近海にて漁獲される鮮魚は青島及鐵道沿線地方にて需要され一部は支那沿岸各地に移出される。其の主なるものは鮮鹽魚、乾鳥賊、寒天等である。以下之等につき詳述しよう。

(イ)　鮮　鹽　魚

鮮魚及鹽魚は主として支那人の手によつて移出され仕向地は鹽魚は南支方面に多く鮮魚は上海、大連方面である。移出鹽魚中代表的なものは太刀魚にして鰆、黃花魚等は之に次ぐ。太刀魚、鰆は青島近海到る處にて漁獲され其の主なる漁場は水靈山島、竹岔島、大公島、小公島、塔連島及長門岩沖合附近である。左に鮮鹽魚の輸移出數額を示さん。

鮮　魚

單位（數量　担（百斤）　（金額　海關兩

仕向地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海	三三	一三七	五三九	二、七三三	八六五	四、三三〇
大連	一	—	一一九	一、〇七九	七一〇	三、三九七

鹽　魚

仕向地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	三八八	三、四七七	三二六	二、〇八七	—	—
芝罘	—	—	一七	七五	—	—
合計	四二一	三、六九四	九〇一	五、九七四	一、五七五	七、七三〇

鹽　魚

仕向地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海	一〇、九三七	六九、九九七	一、九五八	一三、七〇六	七七〇	四、六二〇
廣東	一、〇一四	六、四九〇	一〇五七七	七、三九九	—	—
汕頭	一九一	一、二三	四、〇五〇	二八、三五〇	九、〇七九	五四、四七四
南京	八四一	五、三八二	—	—	—	—
大連	—	—	二一四	一、四九八	一五四	九、二四
日本	九四	六〇九	四〇二	四六	—	—
天津	—	—	—	—	七	四三
香港	一、三〇一	八、三二六	一、五二三	一〇、五八四	一、四六三	八、七七八
福州	—	—	—	—	三七一	二、二二六
芝罘	—	—	七	四九	—	—
合計	一四、二七八	九二、〇二六	八、八四四	六一、九八八	二一、八四四	七一、〇六四

(ロ)乾烏賊

膠洲灣一帶にて漁獲される烏賊を甲附のまゝ乾燥したるものにして、支那人の嗜好に適し南支方面へ移出するもの多く專ら支那仲買人の手を通じ仕向けられて居る。邦人の之を取扱ふもの未だなし。左に之が輸移出數額を示さん。

仕向地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海	七五五	一七、三六五	一四八	三、五五二	一三〇	三、九〇〇
英國	—	—	一、三九〇	三六、三六〇	—	—
廣東	四三五	九、七二五	二八	六七二	三	九〇
油頭	七四	一、七〇二	三三	七、七八八	四三三	一三、六六〇
大連	—	—	七	一六八	三	九〇
香港	二四〇	五、五二〇	—	—	七二〇	二一、六〇〇
天津	—	—	一〇	二四〇	一四	四二〇
合計	一、四九四	三四、三六二	一、九〇五	四八、七二〇	一、二九二	三八、七六〇

(ハ)寒天

大正二年支那人の手により資本金二萬五千圓を以て沙子口に寒天製造會社設立せられたるも日獨戰爭及支那革命動亂に遭遇し、石花菜の買入れに一大困難を生じたると職工の不熟練及原藻晒用淡水不足等により良好なる製品を得ず、販賣も遂に失敗に歸した。其後該品の製造は中絶したるも昭和三年再び李村に支那人の共同出資にて製造所設けられ、現在一期間の製品高は約二千斤餘に上ると稱せられる。邦人の之に從事するものはない。原藻は青島近海到る處に產するも製法未だ幼稚なる爲製品の品質は內地品に比し稍劣つて居る。海關統計によれば昭和元年には輸出額三百六十三海關兩、同二年無し、同三年には一躍一萬二千八百七海關兩となつた。仕向地は日本、大連、天津、上海等である。

一、輸出海產物百斤に對する諸掛（銀建）

昭和五年二月一日調

品名	關稅	貨物稅	埠頭料	雜費	計	摘要
鹽魚	四三〇		〇六〇	九三〇	一、五七〇	船運賃ハ一定セザル故本表ニ記入セズ
鹽鰯（烏賊）	四三〇		〇六〇	九三〇	一、五七〇	
海草（寒天草）	三五二		一三五	三九〇	一、一七六	

備考 一、雜費中には梱包材料、運搬賃、通關手數料等を含む
二、關稅中の三分の一は附加稅とす

二、輸出商

輸出の主なるものは前述の如く鮮鹽魚、乾烏賊、寒天等にして漁獲期に至れば南支方面より支那商臨時出張し來り買收し輸送するものにして特に輸出商と稱するものはない。

第十　輸移入品

本省に於て我國及各地より輸移入する水產物の主なるものは海參、貝柱、鰻、昆布、乾鹽魚等である。以下之等につき詳述しよう。

（註）以下列記する統計中×印のものは支那品輸入を表はし他は外國品輸入を示す、數量は担、金額は海關兩である。

（イ）海參

海參は海鼠を煮て乾燥したもので黑白の二種あり。又有刺、無刺に分れる。本邦產は黑海參で本省に輸入されるものは多く有刺參である。有刺參は無刺參に比すれば價高く、就中肉刺銳く且つ叢生し、色澤眞黑で肉の肥厚なるものを最上としてゐる。我本州及北海道では多く有刺參を產し南方に至る程肉刺小く、鹿兒島縣の大島、沖繩縣及小笠原島では無刺參を產する。海參は其の効め人參に均しいものありとして支那人は古來頗る賞味し、支那料理には大海味の一として缺くべからざるものである。遠く德川

時代より對支重要輸出品であり、今日國內に於て消費されるものは極めて尠く、全く輸出品として製造されてゐる。

今最近四ヶ年の輸移入數額及產地を示せば次の如し。

海參（黑疣附）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	九四	五、二七九	一〇	九〇〇	一四	一、一一〇	三七	三、三三〇
朝鮮	四二	三、一三三	一	九〇	七九	六、三一〇	六八	六、一一〇
上海	三一	二、三九二	二七	二、四三〇	一三	一、四九〇	一三	一、五一五
大連	二一	一、五六五	一〇	九〇〇	六	六三〇	二	一三三
芝罘	五	三一一	一七	一、五三〇	—	—	—	—
威海衛	二〇	一、九四二	一	—	—	—	—	—
合計	二一三	一四、八三三	六五	五、八五〇	一一一	九、五六〇	一二〇	一一、〇九八

海參

（黒白疣ナシ）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	三	一四〇	三一	一、九九〇	一	一	八一	八、六一〇
朝鮮	三六	一、八五五	九	三一	二七	九八八	一五	八七一
上海	三九	一、九九五	四四	二、五三八	五八	三、七八三	一九六	九、四八一
計			八四	四、五六〇	八五	四、七七一		

×海參（有疣、無疣、混合せるもの）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
大連	二一〇	一五、四〇〇	一	一〇、〇一〇	二〇一	一六、〇六〇	二一一	一二、六六〇
上海	一	一	一	一	三	二四〇	一	一
威海衛	一三	九一〇	一	一	一	一	二	一二〇
芝罘	一	一	一	五六〇	一	一	六	三六〇
合計	二三三	一六、三一〇	一	一〇、五七〇	二〇四	一六、三一〇	二二九	一三、一四〇

海參の產地は北海道、朝鮮、南支等であるが品質は北海道產を第一位とし、朝鮮を第二位とし南支產は下位にある。本省に輸入されるものは朝鮮產最も多く日本產は之に次ぐ。

(ロ)貝柱

貝柱は帆立貝、伊多良貝、板屋貝、王珧（タイラギ）等の肉柱を煮沸して乾燥せるもので、支那では之を瑤柱或は江魚柱と稱し專ら高級料理に使用せられる。

元來支那人は板屋貝を嗜食し、從つて其の價格も高く帆立貝柱の大なるものは其の代用品として需要されてゐる。本邦に於ける貝柱は殆んど帆立貝を原料としてゐるのであるから從つて同貝の產出の多い北海道が本品の主產地である。今本品の產地及輸入數額を示せば次の如し。

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	七三	四、二六八	四七	二、五二八	四九	二、七九九	一〇五	五、五八九
朝鮮	五	二一〇	一	一〇〇	五	二八〇	二	一六一
上海	二九	二、〇三三	五三	四、二七	四四	三、七八四	九	八四一
芝罘	一	五三	一	九〇	一	一	一	一

大連	三八	一、九三〇	—	—	—	—	—	—
合計	一四六	八、五五二	一〇二	六、九二五	九八	六、八六三	一二六	六、五九一

支那に於て需要される貝柱の産地は北海道、北鮮、南支等である。本品は元來奢侈品であるため需要も比較的尠く本省に輸入さるゝに至つたのは極最近の事である。

（ハ）鯣

鯣は柔魚及烏賊を乾燥して製造したるものゝ總稱で原料及製法の異るに依り我國に於ては一番鯣、二番鯣、甲付鯣の別がある。支那に於ては魷魚、螟蛹鯗、墨魚等の名稱がある。

一番鯣は劍光鯣を原料として製造したもので品質最も優良である。長崎、佐賀、大分、山口、島根、鹿兒島等の諸縣を主産地としてゐるが其の産額多からず、二番鯣は『マイカ』又は『スルメイカ』と稱する柔魚を原料として製造せるもので産額頗る多く我國で産出する鯣の大部分は本品である。二番鯣は到る處の海岸で生産されるが殊に北海道、新瀉、島根、岩手等は著名な産地である。甲付鯣は甲烏賊を甲と嘴の附着したまゝ乾燥したもので中國、四國の沿岸地方で生産される。支那にては柔魚類を乾燥したのを魷魚といひ烏賊を乾したものを墨魚又は螟蛹鯗と稱する。今本品の輸入數額及産地を示せば左の如し。

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	一九〇	六、六五〇	一六八	五、〇四〇	一五八	四、四六九	二〇二	五、二七六
朝鮮	九	三一五	—	—	三	九五	一三	三七九
上海	一七	四五七	四七	一、四八五	五一	一、五〇一	六	二〇〇
合計	二一六	七、四二二	二一五	六、五二五	二一二	六、〇六五	二二〇	五、八五五

鯣は昆布と共に我國輸出水産物の大宗にして年々の輸出額は七百萬圓以上に上つてゐる。我國より輸出する鯣は殆んど支那にて消費され主なる仕向地は南支方面にして本省に輸入するものは極めて僅少である。我國の輸出港は神戸を主とし函館、門司、長崎は之に次いでゐる。

（ニ）昆布

昆布は本邦北海に産する褐藻類に屬する海藻で我國海草中最も有用且つ其の産額の多いものである。我國に於ける産地は主として北海道で樺太、青森、岩手にも少量の産出あるをみる。

昆布は鹽鱒、蟹罐詰、鯣等と共に本邦輸出水産物中の重要品で年輸出額は約四百萬圓に達し、其の大部分は直接支那に仕向けられ一部上海等より本省に轉輸されるものあり。今其産地及輸入數額を示せば次の如し。

昆布（短）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本海上	二六二	一、四八七	七六	四四九	一四九	九二	一五五	一、〇八〇
	—	—	—	—	一六	七九	—	—

昆布（長）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	一五、一三六	六〇、二七七	二六、二六〇	一二、一六一	二六、四八四	一〇四、五九四	一九、四九二	七五、七六一
大連上海	一〇九	四三三	三〇	一四九	一、〇五六	三、〇八四	八一五	三、六五四
露領太平洋岸	三〇	一四九	—	—	一一〇	五五三	—	—
	二、八三六	八、五〇八	—	—	—	—	—	—

昆布（精製）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	四〇	一、八〇三	三七	二、六四七	四六	一、八五〇	四一	二、四六〇
朝鮮	一	二三	一	一六九	一	五三	一	六〇
大連上海	—	—	—	三〇	—	—	—	八〇

昆布（赤）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本上海	二五	四〇七	七	一八	四	二五	三	三八
	—	—	—	—	三	三八	—	—
合計	一八、四三九	七三、〇九六	二六、四三	一二四、七九四	二七、八六九	二一、二七六	二〇、五〇九	八三、一三三

昆布の消費地は支那に於ては主として長江附近で北支那方面は之れに次いでゐる。而して海參、貝柱、鱶鰭等が高級食料品、奢侈品として上流社會に消費されるに反し、昆布類は都會に於ては需要尠く、大部分は地方農民の副食物に供せられ最も需要多きは冬季である。昆布は鹽分強く且つ長期の貯藏に堪ゐ其の價格も低廉なるため支那奥地及冬季蔬菜類に缺乏する地方に於ける必需品となつてゐる。支那人は昆布類は炭毒の豫防に効あつて滋養分多しと稱し、炭山地方に於ける需要額は特に多い。

本省に輸入する昆布は示表の如く長昆布、刻昆布、精製昆布等であるが長昆布以外は輸入額は極めて尠い。

（ホ）鱶鰭

鱶鰭は鱶類の鰭を乾製したもので我國内の消費は殆んどないが支那人は之を魚翅と稱して大いに賞味し上等料理には缺ぐべからざるものとなつてゐる。本品は白黑の二種あり支那人は白翅を尊び、價格も

黒翅より高く本邦産は黒白混合してゐる。

本邦輸出の鰳鰭は悉く支那方面に仕向けられるものであるが長江以南に消費されるものが多く本省に入るものは主として上海より轉輸されるものである。又香港、新嘉坡方面より直接上海に輸入し更に本省に入るものもある。輸入數額は次表に示せる如く至つて僅少である。

鰳　鰭（精製）

仕出地	大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海	一	一七	三	七八	八	一、三五一	三三	三、七六四
香港	—	—	—	—	—	—	五五	四、八九七
日本	—	—	—	—	—	—	一	四三

鰳　鰭（未精品、百四十兩以下）

仕出地	數量	金額
香港	八六	七、三五五
上海	一九	一、五九六
合計	一三	一〇、五八八
	三	二、九六三
上海	九七	九、六一〇
	四三	四、一三一
上海	—	—
	三	五六〇

鰳　鰭（未精品、百四十兩以上）

仕出地	數量	金額
上海	一〇	一、八〇一
合計	一二六	一〇、八二九
上海	九	一、七八四
	一二四	一六、〇五三
	一	一七五
	一四八	一五、一七七
	—	—
	九三	九、二六三

× 鰳　鰭

本品の産地は日本、朝鮮、南支及南洋方面で本邦産は品質に於ては南支、南洋産に比し劣るも價格低廉なるために歡迎されてゐる。

仕出地	數量	金額
上海	三	三
大連	一	—
合計	三	三
上海	一五〇	一五〇
	—	—
	一五〇	一五〇
	—	—
	一四〇	一四〇
	—	—
	一四〇	一四〇
	一三	一三
	—	—
	一三	一三
	一、三〇〇	一、三〇〇
	—	—
	一、三〇〇	一、三〇〇
	二〇	二〇
	—	—
	二〇	二〇
	—	—
	—	—
	—	—

（へ）鹽　魚

鹽魚が支那方面に輸出されるに至つたのは比較的近年のことに屬するが今日は鹹魚又は絕魚と稱せられ日常の惣菜用として其の需要頗る多く、且つ年々遞增しつゝある。

鹽魚は本邦商人間に於ては新海産物と稱せられ、其の支那に於ける需要は中部地方に最も多い。而して舊海産物（昆布、鰹、海參、貝柱、鮑、鱶鰭等古くから輸出されてゐたものをいふ）が昆布を除いては、我國の生産狀況から見て又支那に於ける消費狀況から見て既に飽滿の域に達し、今後の輸出額の激增は望み得ぬに反し、新海産物は我國の生産の側から見れば露領沿海の水產物の豐庫より無限に採取するを得べく又支那に於ける消費も一般向なるために支那人の生活向上と共に將來需要の增大は大いに期待すべきものがある。加ふるに舊海産物は我國にては永年支那商人の取扱ふところで其の商權は全く華商の手にあり容易に邦商の割込むべき餘地なきに反し、新海産物の商權は全然邦商の手にあり、此點から見ても特に重視すべきである。

本省に輸入する鹽魚の主なるものは鹽鮭、鹽鱒、鹽鰯等にして其の中鹽鮭は最も多く鹽鱒、鹽鰯は之に次ぐ。鹽鮭は米國產最も多く輸入の約七割を占め大部分は日本より轉輸し、直接輸入するものは極めて尠い。朝鮮產の輸入も亦相當ある。

左に鹽鮭竝に其他の鹽魚の輸移入數額を示さん。

鹽鮭

仕出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	一六、九二六	五四、二八六	二一、二一〇	六八、〇四六	一九、七五六	五九、八九七
米國	四三	九八	五八〇	二、三二〇	一〇、四四三	三一、九七一
獨逸	—	—	六	六〇	—	—
加奈陀	四、〇六九	一三、九三三	二、五二六	七、五八八	七三〇	二、一九〇
露領太平洋岸港	四、三四四	一五、二〇九	—	—	—	—
朝鮮	二、三二三	七、五五三	二、〇七五	六、六九七	一、五二八	四、六〇五
上海	五、〇六七	一五、九七九	八八〇	二、六二一	一、七一六	七、二二九
大連	二八五	八五五	—	—	一、三八六	五、一〇七
合計	三三、〇六六	一〇七、九一三	二七、二七七	八七、三三二	三五、五九九	一一〇、九九九

其他鹽魚

仕出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	四、〇二九	二〇、一四五	三、五三五	一四、九八九	五、四〇六	二三、五〇五

朝鮮	八	九、四九一	四〇	四七、四五五	五九〇	一、八五二	三〇六	八七	五六〇	一、八五二	三〇六	八七	五六〇	一、八五二	三〇六	八七	五六〇	一、八五二	三〇六	八七	五六〇	一、八五二	三〇六
露領太平洋岸港																							
上海	三六〇	二、一六三	四	一八七	四	二〇	—	二七	四	二〇	—	二七	四	二〇	—	二七	四	二〇	—	二七	四	二〇	—
大連	八五	三四八	三九	四八〇	三九	九三〇	二七四	一、一三九	六、八五二	九三〇	二七四	一、一三九	六、八五二	九三〇	二七四	一、一三九	六、八五二	九三〇	二七四	一、一三九	六、八五二	九三〇	二七四
威海衛	三二	二六〇	五三八	五三八	五三八	一、九二三	二一四〇	九一八	三、七一〇	一、九二三	二一四〇	九一八	三、七一〇	一、九二三	二一四〇	九一八	三、七一〇	一、九二三	二一四〇	九一八	三、七一〇	一、九二三	二一四〇
合計	一四、〇二五	四〇、四一一	四、八九三	四、八九三	四、八九三	一九、九八八	六、八九九			一九、九八八	六、八九九			一九、九八八	六、八九九			一九、九八八	六、八九九			一九、九八八	六、八九九

(ト) 乾魚及燻魚

支那に於ては鹽を用ひずして乾燥した魚類を紫魚又は乾魚と稱し大いに珍重してゐる。今日本邦から支那へ輸出してゐる乾魚は田作、乾鰯、乾玉筋魚、乾飛魚、鯵乾物、乾鱈及燻魚等であるがその中で乾鱈が大多數を占めてゐる。乾鱈は從來日本より香港を通じて支那内地へ輸入されてゐたのであるが近來直接支那へ輸出せられるのが激增した。今最近三年間の輸入數額を示せば左の如し。

乾魚及燻魚

仕出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	四九九	七、四八五	四一三	五、八三九	三三四	四、九〇九

朝鮮	三	一八〇	九〇	一、〇九二	三六	五四八	三	一八〇	九〇	一、〇九二	三六	五四八	三	一八〇	九〇	一、〇九二	三六	五四八	三	一八〇	九〇	一、〇九二	三六	五四八
上海	四	九三	—	—	二	四六	四	九三	—	—	二	四六	四	九三	—	—	二	四六	四	九三	—	—	二	四六
大連	一	三〇	二	三八	三三	七九	一	三〇	二	三八	三三	七九	一	三〇	二	三八	三三	七九	一	三〇	二	三八	三三	七九
合計	五一六	七、八八	五〇五	六、九六九	三九五	六、二六二																		

移入乾鹽魚は數額極めて尠く特記するに足らず。支那人の水產物製造狀況を見るに鱈、海參、貝柱等の特種なるものを除いては乾魚は比較的尠く鹽魚類が頗る多い。之は大約次の如き理由によるものと察せられる。

(1) 乾魚は其の製造に非常に手がかゝる。故に特殊な高級料理を除いては生活程度の低い山東へ賣捌くには高價になり過ぎる惧がある。之に反し鹽魚は製法頗る簡單で容易に多量に製造し得る。

(2) 肉体を勞するものは又鹽分を多く要求する。支那人の大部分は筋肉を勞する農民、勞働者なるため自ら鹽分の多いものが需要される。

昆布、鯡、海參を除いては邦人が支那人向の加工製造品を作ることは殆んど無い。日本人向の魚類の歩みを目指す邦人漁業は行詰らんとしつゝある今日以後に於ては、大いに支那人向の魚類を捕獲すると同時に、支那人向の製造加工品を產出する樣努力する必要あるものと認めらる。

（チ）鮮魚

本省に輸入せらる鮮魚の大部分は魚食に特別の嗜好を有する邦人に消費せられる。從つて其の種類も內地に於けると同じく青島近海に於て生產せざる鮪、伊勢蝦、鯖、鰯、蠣、鮑等にして其の他魚製品として魚罐詰、鰹節、魚膠、魚肚、魚翅等の移入數額も亦相當多い。

今其の主なるものゝ輸移入數額を示せば次の如し。

仕出地	昭和元年 數量	昭和元年 金額	昭和二年 數量	昭和二年 金額	昭和三年 數量	昭和三年 金額
日本	一、三三九	二六、七八〇	一、一〇〇	一七、六五三	一、二二六	一八、四一八
朝鮮	四一〇	八、二〇〇	三	三〇	—	—
上海	一	二〇	—	—	—	—
大連	三	六〇	—	—	二	三六
威海衛	四	八〇	四	七二	八六	一、五四八
天津	—	—	—	—	八	一四四
合計	一、七一七	三五、一四〇	一、一〇七	一七、七五五	一、三二二	二〇、一四六

×鮮魚

仕出地	昭和元年 數量	昭和元年 金額	昭和二年 數量	昭和二年 金額	昭和三年 數量	昭和三年 金額
上海	—	—	一一	九三	一一五	五一六
大連	二六	一三一	一四	一二九	二八	二一六
芝罘	三六	一七六	二七五	一、〇二七	四〇三	一、八三九
威海衛	—	—	二二	五〇	八七	四一九
合計	六二	二九七	三二二	一、二九九	六三三	二、九九〇

×魚罐詰

仕出地	昭和元年 數量	昭和元年 金額	昭和二年 數量	昭和二年 金額	昭和三年 數量	昭和三年 金額
上海	三、九五六	七、八〇八	四、二六五	九、〇一二	四、九七〇	一〇、五八四
哈爾賓	—	—	八	二九	—	—
大連	三七	四九	—	—	—	—
芝罘	五四四	六三五	八〇	九七	一四〇	一三四
寧波	四	三	—	—	—	—
合計	四、五四一	八、四九五	四、三五三	九、一三八	五、一一〇	一〇、七一八

×魚膠

輸出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海						
寧波						
威海衛						
芝罘						
合計						

×魚肚

輸出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海						
大連						
芝罘						
合計						

(リ) 寒天

寒天は石花菜に他の海藻を配合し、之を煮熱して寒天分を浸出凝固せしめた後適當に細切してから、寒氣を與へて凍結せしめ、更に之を融解乾燥させたもので食用及工業用として需要の頗る多いものである。本省輸入品は主として香港、上海方面より轉送されるものにして日本品は長野縣及京阪地方のものが主である。今寒天の輸入數額を示せば左の如し。

仕出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
香港	一、七八三	一〇、〇四八	八〇三	四、三四七	一、二二一	六、八七一
上海			三九	二三九	三四	二〇一
合計	一、七八三	一〇、〇四八	八四二	四、五八六	一、二五五	七、〇七二

本品は支那に於ては凍瓊脂又は洋菜と稱せられ、燕巢の代用品及消暑料として飲用に供せられてゐる。その需要は中部支那に最も多く、北部支那及南部支那は之に次いでゐる。本省の需要は極めて尠い。

(ヌ) 水母漬

水母を乾燥して製したる水母漬にして支那料理に多く使用せられる。本省に輸入するものは主として

上海方面のものである。左に移入數額を示す。

×水　母

仕出地	昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
上海	一、六三二	九、二〇六	二、一九二	二、六七〇	一、七〇六	一、五一四

第十一　本邦品の輸出に至る徑路

本邦より支那市場に輸出される海產物は其の種類多く、生產地、生產事情も種々異つてゐるため、其の原產地から輸出される迄の徑路も一定してゐるが大體に於て委託若くは買付けにより輸出港に出荷し、輸出港の貿易商人の手により輸出せられてゐるのを通則としてゐる。輸出海產物が原產地から輸出せられる迄の順序には大體次の五種がある。

（1）原產地に於ける漁業者若くは製造者より同地方仲買問屋を經由し、輸出港仲買問屋に出荷し來り、邦商若くは外商の直輸出商に賣込まれるもの

（2）原產地に於ける漁業者若くは製造者より同地方仲買を經由せずして輸出港仲買問屋に出荷し來り、內外人直輸出商に賣り込れるもの

（3）原產地に於ける漁業者若くは製造者より、同地方の仲買を經由し、輸出港內外人直輸出商に賣込まるゝもの

（4）原產地に於ける漁業者若くは製造者より直接若くは同地方の仲買人を經由し、輸出港商人の手を經ずして直ちに海外に輸出せられるもの

（5）原產地に於ける漁業者若くは製造者より、同地方竝に輸出港に於ける仲買問屋を經由して、內外直輸出商に賣込まるゝもの

又嚴密な意味に於ては我貿易とは言ひ難いが之に準ずるものとしての通過貿易がある。即ち露領沿海州其他に出漁した我漁船が其漁獲物を漁場附近若くは船中で加工製造して、我國に陸揚せず直接外國に輸出するものもある。

以上各種の方法はあるが對支輸出に於ては輸出港の仲買問屋を經由せざることは極めて稀である。而して此の海產物對支輸出に關し特に注意すべきは在留支那商人の勢力である。維新當時に於ては外國輸出貿易といへば在留外國商館に賣込む所謂居留地貿易に定つてゐたのであるが漸次海外の事情に通曉するに及び邦商の直輸出するもの增加し今日に於ては一般貿易品では外人の手を經るものは稀である。然るに海產物の對支輸出のみに於ては各貿易港所在支那商人の手を經ること頗る多く、其の地盤は牢

固として抜き難きものあり。邦商は全く追従する能はざる實情にある。殊に以前よりの輸出品たる昆布、海參、鱶鰭、乾鮑等の輸出は全く彼等の商權の下にある。

斯くの如く邦人貿易商が在留支那商に壓倒されるのは次の如き理由によるものとみられる。

(1) 支那商人の在留古く其の經濟的實力の大なること

(2) 本邦商人側では支那の事情に通せず、適當なる商略を講じ難きこと

等である。

(一) 青島に於ける主なる日支人海産物輸入業者

日本人			支那人		
商號	氏名	住所			
伊藤吉商店	伊藤吉之助	青島金鄉路二八			
有長商店	有長虎	同 冠縣路六七			
永豐洋行	田中權一郎	同 中山路一四九			

(二) 輸入海産物百斤に對する諸掛 (銀建)

昭和五年二月一日調

品名	關稅	貨物稅	埠頭料	運搬賃及手數料	小計	摘要
海參(黑突起アルモノ)	二二・九一七	五・二〇〇	一〇〇	一五〇	一八・三六七	船運賃ハ一定セザルモ故本表ニ記入セズ運搬賃、手數料ハ多少ノ增減アリ以下同樣
同(黑突起ナキモノ)	一〇・七六七	四・八〇〇	一〇〇	一五〇	一五・八一七	
同(白)	四・三〇七	四・〇〇〇	一〇〇	一五〇	八・五五七	
貝柱(乾)	八・九五〇	三・二〇〇	一〇〇	一五〇	一二・四〇〇	
鰒	四・一三五	一・六〇〇	一一〇	一五〇	六・〇〇五	
昆布(長)	四九一	〇六〇	〇八〇	〇八〇	七一一	
鱶鰭(調理品)	九六・九〇五	二四・〇〇〇	一〇〇	三〇〇	一三一・四〇五	
同(未調理品)	六・〇五三	二・〇〇〇	一〇〇	三〇〇	一八・四五三	
同 三十兩以下ノモノ	二五・七〇七	一六・〇〇〇	一〇〇	三〇〇	四二・一〇七	
同 百四十兩以下ノモノ	七七・五三〇	二一・〇〇〇	一〇〇	三〇〇	九八・九三〇	
同 百四十兩以上ノモノ						

源興祥
義長祥
福興祥

同 濟南路
同 莘縣路
同 冠縣路

	鹽鮭	鹽鱒	乾魚	鮮魚
三八八	一六〇	〇五〇	〇五〇	〇五〇
五五七	一六〇	〇三〇	〇三〇	〇五〇
一・三七〇	八・〇〇〇	〇六〇	〇六〇	〇五〇
二・一五三	五〇〇	〇五〇	〇八〇	一六〇
六五八				
七九七				
九・五一〇				
二・八六三				

第十二　山東省に於ける本邦水産物の將來

山東省に於て消費せらるゝ水産物中本邦品は極めて重大なる地位を占めてゐる。即ち山東省に輸入する水産物は其の用途により二大別することが出來る。一は上流社會にて消費される高級な料理向の海産物であり、他は一般農民、勞働者に日常消費される惣菜用のものである。前者は鱶鰭、海參、干鮑、貝柱等であり鹽鱒、鹽鯖、昆布等は後者に屬する。前者は高價であり且つ日常缺ぐべからざる生活必需品に非ずして、奢侈品として嗜好せらるゝものなるため、文化進まず富力に乏しく且つ極端に儉素な生活に甘ずる山東省民間に於ける需要は近き將來に於ては激增することなきものと思はれる。之に反し鹽魚及昆布類は山東に紹介されてより多くの年月を經ず、一般農民に十分理解され居らざるも、其の價格の低廉な點其他から見て、冬季副食物の缺乏し勝な山東に於ては容易に他の適當な代替物を見出し難い生活必需品なる爲、其の前途は洋々たるものありと思考せられる。

第十三　水産組合魚市場

青島竝に膠濟鐵道沿線地方に供給される鮮魚類は大部分水産組合の經營市場に上場され特定の仲買人に販賣することになつて居る。

現在營業中の魚市場專屬仲買人は次の如し。

商號	氏名	住所
邦商	山川號	鈴木寬一郎	青島市場三路市場內
魚清		村上清四郎	同
津村商店		津村梅松	同
乘松商店		乘松茂太郎	同
後藤組		永松德藏	同 市場二路
村上商店		村上茂助	同
熊野商店		三戶儀平	同 長安路五
堀淵商店		堀淵處平	同 河南路七三

支那商號	氏名	住所
雙發祥	于泉齡	青島市場三路
福田	劉雲一	同
德盛和	李世軒	同
李	王開馨	同
王	殿瑞	同
合成興	于福有	同
永聚盛	吳鳴山	同
珍記	張〔呂〕錫鴻	同
王	呂〔牛〕珍忠	同
蘇	牛〔呂〕令文	同
魏	龍禮亭	同
田	盛光海	同
	李裕	同

第十四　青島魚市場内日支人魚部

青島魚市場内に店舗を有する日支魚商の大部分は鮮魚の市内販賣を目的とするものであるが、中には販賣のかたわら鐵道沿線方面に輸送するものもあり。

邦人商號	氏名	商號	氏名
山川號	鈴木寛一郎	魚清	村上清四郎
乘松商店	乘松茂太郎	合志駒雄	
村上商店	村上茂助		

支那人商號	氏名	商號	氏名
福興裕	于松年	裕和興	王〔福〕〔況〕茂珍
三義誠	程深遠	福興裕	牛耿慶
萬合成	朱容初	德盛和	牛世軒
同興魚行	劉子岫	福田	劉雲一

雙發祥　于泉齡
永合興　魏耀山
永聚盛　(吳)錫鴻(吳)思榮
德合太　邵雲舫

珍記　(張)珍(呂)忠文
德盛和　牛世論
合成興　于明山

第十五　水産規定

青島漁業取締規則

（大正五年三月八日軍令第一〇號改正大正七年五月十七日軍令第一五號）

第一條　漁業ヲ爲サムトスル者ハ軍司令官ニ出願許可ヲ受クヘシ

第二條　漁業ヲ許可シタルトキハ漁業鑑札ヲ下付ス

第三條　漁業鑑札ハ漁業ニ從事スル間之ヲ携帶スルカ若ハ漁船ニ備ヘ置クヘシ

第四條　漁業鑑札ハ譲渡又ハ貸付スルコトヲ得ス

第五條　漁業鑑札ヲ亡失、毀損シ若ハ鑑札記載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ直ニ再下付又ハ書換ヲ申請スヘシ

第六條　漁業ヲ廢止シ又ハ漁業鑑札ノ無效トナリタルトキハ三十日以內ニ其ノ漁業鑑札ヲ返納スヘシ

第七條　水産動植物ノ蕃殖保護、漁業取締其ノ他公益上ニ障害アリト認ムル漁業ハ之ヲ許可セス其ノ既ニ許可シタルモノニ在リテハ之ヲ制限停止若ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第八條　本則ニ依リ軍司令官ニ差出ス書類ハ民政署長ヲ經由スヘシ

第九條　第一條、第三條乃至第六條ニ違反シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

許可ノ條件又ハ制限ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ

附　則

第十條　本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條　本則施行前漁業ノ許可ヲ受ケタル者ハ本則ニ依リ其ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ本則施行ノ日ヨリ三箇月以內ニ漁業鑑札ノ書換ヲ申請スヘシ

前項但書ノ申請ヲ爲ササルトキハ廢業シタルモノト看做ス

第一號書式（漁業取締規則第一條該當）

漁業許可願

一、漁業名稱　何々漁業（第何號）
一、漁業場所　何々海面（何所地先）
一、主要漁獲物　何魚
一、漁業時期　自何月何日至何月何日
一、漁船數　何隻
一、漁具數　網何統（延繩何鉢）
一、從業者數　何人

前記ノ通リ漁業許可相成度此段奉願候也

年　月　日

原籍
現住所
氏　名　㊞
歳

青島守備軍司令官宛

備考

一、願書ハ一漁業毎ニ一通ヲ提出スヘシ

二、定置漁業、區劃漁業及曳揚場又ハ網代ノ一定シタル漁業ハ漁場ノ位置又ハ區域ヲ表示スル爲メ實測圖若ハ見取圖ヲ願書ニ添付スヘシ

三、一漁業ヲ二人以上共同シテ出願スルトキハ連署ノ上内一人ヲ代表者ニ指定スヘシ

四、一人ニシテ同一漁業ヲ多數ニ營ム者ハ願書中漁業名稱ノ下ニ番號ヲ付シ甲乙ヲ區分スヘシ

第二號書式（漁業取締規則第五條該當ノ一）

漁業鑑札再下附申請

一、鑑札ノ番號
一、漁業名稱
一、鑑札下附年月日

前記ノ鑑札何々ノ事由ニ依リ亡失致候ニ付再下附相成度此段申請候也

年　月　日

住所
氏　名　㊞

青島守備軍司令官宛

第三號書式（漁業取締規則第五條該當ノ二）

漁業鑑札書換申請

一、鑑札番號
一、漁業名稱

一、鑑札下附年月日

一、書換ヲ要スル事由

前記ノ通リ書換相成度鑑札相添ヘ此段申請候也

年　月　日　　住　所

青島守備軍司令官宛　　氏　名　㊞

第四號書式（漁業取締規則第六條該當）

一、漁業鑑札返納屆

一、鑑札番號

一、漁業名稱

一、鑑札下附年月日

右何年何月何日廢業（鑑札無效ト相成）致候ニ付返納仕候也

年　月　日　　住　所

青島守備軍司令官宛　　氏　名　㊞

水產組合規則

（大正五年三月八日軍令第十一號
改正大正七年五月十七日軍令第十四號
大正十年六月九日布令第四十七號）

第一條　水產業者ハ本令ニ依リ軍管內ヲ區域トスル水產組合ヲ設置スヘシ

第二條　組合ハ水產業ノ改良、發達及水產動植物ノ蕃殖保護ヲ圖リ組合員營業上ノ弊害ヲ矯正シ共同ノ利益ヲ增進スルヲ以テ目的トス

第三條　組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　組合ノ區域內ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ總テ組合ニ加入スヘシ

第五條　組合ヲ設置セムトスルトキハ組合員タルヘキ者十人以上發起人ト爲リ五十人以上ノ同意ヲ得テ定款ヲ作成シ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

定款ヲ變更セムトスルトキハ組合總會ニ於テ之ヲ議決シ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　組合ニ左ノ役員ヲ置クヘシ

組長　一人
副組長　二人
評議員　六人

組長、副組長及評議員ノ任期ハ二箇年トス

組長、副組長並半數ノ評議員ハ軍司令官之ヲ命免ス但シ軍司令官ニ於テ必要ト認ムルトキハ任期ニ拘ラス役員ヲ命免スルコトアルヘシ

評議員ノ半數ハ組合總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選擧シ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　組合ノ經費豫算ハ組合總會ノ議決ヲ經テ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

第八條　組合ノ事業成績及經費決算ハ毎會計年度後二箇月以内ニ軍司令官ニ報告スヘシ

第九條　組合ハ軍司令官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ起債ヲ爲シ又ハ積立金其ノ他重要ナル財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　組合總會ニ於テ議決シタル事項ハ其都度軍司令官ニ報告スヘシ

第十一條　軍司令官ハ組合ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ民政部官吏ヲシテ組合業務ノ狀況竝財産帳簿等ヲ檢査セシムルコトアルヘシ

第十二條　第三條、第四條、第七條乃至第十條ニ違反シタル者又ハ第十一條ノ命令ニ違反シ若ハ檢査ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ所爲ニシテ組合ニ係ルモノナルトキハ組合役員ヲ處罰ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ組合役員ノ職ニ在ル者ハ本令ニ依ル役員ノ就職スルニ至ル迄其ノ職務ヲ行フヘシ

魚市場取締規則

（大正五年三月八日青島軍政署令第三號）

第一條　本則ニ於テ魚市場ト稱スルハ一定ノ場所ニ於テ競賣法ニ依リ水産物ノ委托販賣ヲ爲スモノヲ謂フ漁業者共同シテ漁獲物ノ販賣ヲ爲スモノハ本則ヲ適用ス

第二條　魚市場ヲ設置セムトスルモノハ左記事項ヲ具シ軍政委員長ニ出願許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一、市場ノ名稱及設置ノ區域

二、設立ノ位置及附近ノ見取圖

三、建設物ノ構造仕樣書及平面圖

四、市場ノ規程

五、資本金額及用途ノ豫算

六、組合又ハ會社組織ニ係ルモノハ其ノ定款

第三條　魚市場ノ規程中ニハ左記事項ヲ記載スヘシ

一、販賣並其ノ代金受授ノ方法

二、手數料ノ歩合竝其ノ收受方法

三、仲買人ノ取扱方法

四、歩戻金ノ歩合其ノ拂渡方法

五、開市ノ日時

第四條　魚市場ノ設置ハ軍政委員長ニ於テ區域ヲ定メ其ノ區域内一箇所ニ限リ之ヲ許可ス但シ左ノ場合ニ於テハ增設ヲ許可スルコトアルヘシ

一、一箇所ニテ不便ト認メタルトキ

二、多數漁業者ノ漁獲物共同販賣其ノ他公益上必要ト認メタルトキ

第五條　魚市場ニハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ毎日取引セル水産物ノ種類、數量、金額、手數料竝賣買者ノ氏名ヲ明記スヘシ

第六條　魚市場ノ附屬仲買人タラムトスル者ハ其住所、氏名、資産及經歷ヲ記載シタル書面ヲ作リ魚市場連署ノ上軍政委員長ニ提出シ認可ヲ受クヘシ

第七條　魚市場ハ附屬仲買人ニ對シ豫メ保證金又ハ身元保證人ノ保證書ヲ徵シ之ヲ保管スヘシ

第八條　魚市場附屬ノ仲買人ハ其ノ魚市場ノ承諾アルニアラサレハ他ノ魚類仲買人タルコトヲ得ス競賣ノ立會ヲ停止セラレ若ハ仲買人ヲ除名セラレタル者亦前項ニ同シ

第九條　魚市場ハ毎月五日限リ其ノ前月取引シタル水産物ノ種類、數量、金額竝時價ノ變動、貨物集散ノ狀況ヲ調査シ軍政委員長ニ

報告スヘシ

第十條　魚市場ハ毎事業年度後三十日限リ其ノ收支決算竝業務成績ヲ軍政委員長ニ報告スヘシ

第十一條　軍政委員長ハ何時ニテモ所屬官吏ヲシテ魚市場ノ業務及會計ヲ監査セシムルコトアルヘシ

第十二條　本則及本則ノ規定ニ基キテ發シタル命令ニ違反シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトアルヘシ

附　則

第十三條　本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條　本則施行前許可ヲ受ケタル魚市場ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但本則ノ規定中未タ履行セサル事項ハ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

青島水產組合定款

（大正五年三月十日製定認可
昭和參年一月現在）

第一章　總　則

第一條　本組合ハ組合員共同ノ利益ヲ增進シ併セテ水產業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本組合ノ業務左ノ如シ

一、組合員ノ保護取締及遭難者ノ救濟

二、水產ニ關スル出願其ノ他手續ニ關スル諸般ノ代辨

三、水產ニ關スル通信報告

四、漁夫ノ音信及貯金爲替取扱ノ代辨

五、組合員ノ紛議仲裁及調停

六、漁夫ノ風儀矯正

七、漁撈、製造、養殖ニ關スル調査指導

八、魚市場ノ經營

九、水產物販路ノ調査及販賣ノ保護取締

十、漁業者居住地ノ經營及漁船、漁具ノ保管

十一、水產ニ關スル功勞者及善行者ノ表彰

十二、統計

十三、前各項ノ外組合員ノ共同利益ヲ增進スルニ必要ナル施設

第三條　本組合ハ青島水產組合ト稱ス

第四條　本組合ハ青島市政廳管內ヲ區域トシ其區域內ニ於ケル水產業者ヲ以テ組織ス

第五條　本組合事務所ヲ青島荷澤路ニ設置ス但シ必要ノ場合ハ他ニ出張所ヲ置クコトアルヘシ

第六條　本組合ニ使用スル印章左ノ如シ

一寸二分角

青島水產組合之印

八分角

青島水產組合組長印

六分角

青島水產組合副組長印

第二章　組合員ノ加入及脫退

第七條　本組合ニ加入セントスルモノハ其營業ノ種類及住所氏名ヲ記シ本組合事務所ニ届出テ組合員ノ證票ヲ受クヘシ但シ本證票ハ當該年度限リ有效トシ每年之ヲ書換フルモノトス

第八條　組合員證票ハ他ニ貸借讓渡スルコトヲ得ス

57
18

第九條　組合員營業ノ種類又ハ住所氏名ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク屆出テ組合員證票ノ書換ヲ受クヘシ

第十條　組合員ノ證票ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ直チニ再渡ヲ受クヘシ

第十一條　組合員ニシテ六ケ月以上組合地域內ニ居住セサルカ又ハ六ケ月以上組合負擔金ヲ滯納シタルモノハ組合員タル資格ヲ喪失スルモノトス

第十二條　組合員ニシテ死亡又ハ轉業ニ依リテ其資格ヲ失ヒ或ハ組合ヲ脫退セントスル者ハ本人若クハ其ノ家族ヨリ直ニ證票ヲ添ヘテ組合事務所ニ屆出ツヘシ

第十三條　組合員ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル者ハ總會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルヘシ

一、本組合定款又ハ諸規程ニ違反シ若ハ組合ノ決議ニ服從セサル者

二、組合員ノ平和ヲ紊シ又ハ組合ノ業務ヲ妨ケ若ハ妨クル虞アル者

三、組合ノ体面ヲ汚損スルノ行爲アリタル者

第三章　組合員ノ權利義務

第十四條　組合員ハ本組合議員ノ選擧並被選擧權ヲ有ス

第十五條　組合員ハ定款及之ニ基ク諸規程又ハ處分ニ服從シ竝ニ組合經費ヲ負擔スルノ義務アルモノトス

第四章　役員及事務員

第十六條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一、組長　壹名（日本人）

一、副組長　貳名（日支人各一名）

一、評議員　六名（評議員選出區分漁業組主參名漁業者貳名販賣業者壹名）

第十七條　役員ハ議員ノ互選トス組長副組長ハ總會ニ於テ組合外ヨリ推薦スルコトヲ得

第十八條　役員ノ任期ハ貳箇年トス但シ再選ヲ妨ケス、補缺ニ依リ就任シタル者ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十九條　役員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任アル迄ハ尙其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條　常務ヲ担當スル役員ハ有給トシ其他ノ役員ハ名譽職トス

第二十一條　辭任其他ノ事由ニ依リ役員ニ欠員ヲ生シタルトキハ臨時總會ニ於テ補欠選擧ヲ行フコトヲ得

第二十二條　本組合ニ主事壹名事務員若干名ヲ置ク主事及事務員ハ組長之ヲ任免ス

第二十三條　本組合ニ名譽顧問ヲ置クコトアルヘシ

名譽顧問ハ評議員會ノ意見ヲ聽キ組長之ヲ推薦ス

第五章　職務ノ權限

第二十四條　組長ハ本組合ヲ代表シ業務ヲ統轄ス

第二十五條　副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之カ代理ヲ爲ス

第二十六條　評議員ハ評議員會ニ於テ組長ノ諮問ニ應答シ及業務執行ノ狀況ヲ監査スルコトヲ得

第二十七條　主事及ヒ事務員ハ組長ノ指揮ヲ受ケ各其擔當事務ヲ處理ス

第二十八條　名譽顧問ハ組合事務ニ就キ意見ヲ述ヘ又ハ組長ノ諮問ニ應答スルモノトス

第二十九條　處務細則ハ評議員會ノ決議ヲ經テ組長之ヲ定ム

第六章　議員及議員選擧

第三十條　本組合員ハ左ノ區分ニヨリ各其ノ組合員中ヨリ議員ヲ選擧スヘシ

一、日本漁業者　十二名

一、支那漁業者　三名

一、支那販賣業者　二名

一、日本販賣業者及製造業者

但シ支那漁業者ヨリ選出スヘキ議員ハ當分組長ノ指名推薦ニ依ルモノトス

第三十一條　議員ノ任期ハ貳箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補缺選擧ニ依リ當選シタル議員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第七章　會議

第三十二條　會議ヲ分チテ評議員會及總會ノ二種トス

一、評議員會ハ評議員總會ハ議員ヲ以テ組織ス

二、通常總會ハ毎年一回之ヲ開ク

三、臨時總會及評議員會ハ組長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ各其所屬議員三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的事項ヲ示シテ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第三十三條　評議員ノ權限ニ屬スル事項左ノ如シ

一、組長ヨリ總會ニ提出スル議案ノ審議

二、總會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタル事項ノ決議

三、其他本定款及諸規程ニ依リ評議員會ノ權限ニ屬スル事項

第三十四條　總會ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ

一、定款ノ變更

二、役員ノ選擧

三、經費豫算竝分賦收入方法

四、經費決算ノ承認

五、起債及償還方法

六、財產處分

七、水產ニ關スル重要事項ノ建議並ニ請願

八、其他組合ニ關スル重要事項

第三十五條　會議ヲ開クトキハ組長ニ於テ通常總會ハ拾四日前臨時總會ハ三日前評議員會ハ二日前ニ其ノ目的事項竝日時場所ヲ書面ヲ以テ各其議員ニ通知スヘシ但シ評議員會ニ限リ臨時急馳ヲ要スル場合ハ急速ニ之ヲ召集スルコトヲ得會議中急施ヲ要スル事件アルトキハ組長ハ直ニ之ヲ會議ニ附スルコトヲ得

第三十六條　會議ハ各其現在議員過半數ノ出席ニ依リ成立ス但シ定刻ヲ過クルコト二時間ニシテ尙定數ニ滿タサルトキハ現在議員三分ノ一以上ノ出席ヲ以テ開會決議スルコトヲ得

第三十七條　會議ノ議長ハ組長之ニ當ル組長事故アルトキハ副組長之ニ代ル組長副組長共ニ事故アルトキハ各其出席議員中ヨリ臨時互選ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條　議事細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第八章　業務

第三十九條　業務ニ關スル諸規程ハ評議員會ノ決議ヲ經テ組長之ヲ定ム

第九章　會計

第四十條　本組合ノ會計年度ハ曆年ニヨル

第四十一條　本組合經費ノ決算ハ評議員會ノ審査ヲ經テ總會ニ報告スルモノトス但シ總會ニ於テ別ニ清算人ヲ選任シタルトキハ此限ニアラス

第四十二條　本組合解散シタルトキハ組長及副組長ヲ以テ其清算人トス但シ總會ニ於テ別ニ清算人ヲ選任シタルトキハ此限ニアラス

第四十三條　清算人ハ清算人中ヨリ一名ノ代表者ヲ選任スヘシ其代表者ハ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ權限ヲ有ス

第十章　違約者處分

第四十四條　本定款其他本組合ノ諸規定ニ違反シタルモノハ評議員會ノ決議ニヨリ百圓以下ノ違約金ヲ課ス

第四十五條　組合經費ヲ滯納シタル者ハ一日ニ付其ノ滯納金額ノ百分ノ二ノ過怠金ヲ課ス

第十一章　雜則

第四十六條　本組合ノ發スル通告ハ組合事務所ノ掲示場ニ之ヲ掲示ス

附則

創立總會ニ於テ當選シタル議員並其互選又ハ推薦ニヨリ就任シタル役員ノ任期ニ關シテハ第十八條又ハ第三十條ノ規定ヲ適用定款改正ノ結果增加スル議員ハ補欠選擧ノ形式ニ依ル

青島水產組合經費分賦收入規程

（大正五年三月三十一日制定）
（昭和參年一月現在）

第一條　組合員ニ對シ每會計年度左記ノ率ニ依リ組合經費ヲ分擔セシム

		金納	銀納
一、漁業者			
桝網	一箇所	參圓	貳圓
建干網	同	四圓五拾錢	參圓
掛子網	一張	拾五錢	拾錢
梳子網	同	貳拾圓	拾五圓
大地曳網	一統	四圓五拾錢	參圓
小地曳網	同	壹圓五拾錢	壹圓
圓網	同	參圓	貳圓
打瀨網	一隻	參圓	貳圓
流網	一統	參圓	貳圓
小打瀨網	一隻	壹圓五拾錢	壹圓
手繰網	一統	壹圓五拾錢	壹圓
草網	同	壹圓五拾錢	壹圓
棧網	同	壹圓五拾錢	壹圓
眼子網	同	壹圓五拾錢	壹圓
擋網	同	四圓五拾錢	參圓
烏賊巢曳網	同	壹圓五拾錢	壹圓
蒲漁	一箇所	四圓五拾錢	參圓
潛水器	一台	參圓	貳圓
裸體潛水	一人	壹圓五拾錢	壹圓
釣漁業	同	壹圓五拾錢	壹圓

前各號ノ外漁業者ニシテ從業者ヲ使用スル者ハ從業者一人ニ付キ日本人ハ金壹圓五拾錢支那人ハ金七拾五錢ノ割ヲ以テ組合費ヲ分擔スルモノトス但シ支那人ニシテ日本人ノ漁業者ニ雇ハレタル從業者ノ負擔金ハ日本人漁業ノ半額ヲ金ニテ負擔スルモノトス

		金納	銀納
二、製造業者			
工場ヲ有スル製造業者	一箇所	拾五圓	拾圓
工場ヲ有セサル製造業者	同	四圓五拾錢	參圓

三、販賣業者

魚市場	販賣手數料	金十分ノ一半	銀十分ノ一半
魚問屋	一人	七圓五拾錢	五圓
魚業組	附屬漁夫一人	參拾錢	貳拾錢
仲買業	一人	七圓五拾錢	五圓
小仲買業	同	參圓	貳圓
小賣業	同	壹圓五拾錢	壹圓

第二條　負擔金ノ納期左ノ如シ

一、漁業者及漁業組　六月三十日限リ

二、製造業者魚問屋仲買業小仲買業小賣業　同

三、魚市場　毎月十日限リ前月分納付

第三條　前條ノ納付期限後本組合ニ加入又ハ起業シタル者ハ其ノ際當該年度ノ負擔金ヲ納付スヘシ

第四條　組合員ノ資格消滅スルモ既納ノ負担金ハ之ヲ還附セス

第五條　人頭ニ依リ組合經費ヲ負擔スル各種ノ漁業ヲ兼ヌル者又ハ魚問屋仲買人小仲買人小賣人ヲ兼ヌル者ノ負擔金ハ其ノ最高ノ一種ニ限リ之ヲ徴收ス

第六條　「トロール」其他特殊漁業ノ組合員ヲ生シタルトキハ組長ニ於テ適宜負擔金ヲ定メテ之ヲ徴收ス

青島水産組合魚市場規程

（大正五年三月三十一日制定　昭和參年一月現在）

第一章　總則

第一條　本組合ハ定欵第二條ニ基キ組合員共同ノ利益ヲ增進セシムル爲メ青島ニ魚市場ヲ設置ス

前項ノ魚市場ハ青島水産組合魚市場ト稱ス

第二條　魚市場ニ於テハ組合員ノ鮮魚（生鮮ナル水産動植物ヲ總稱ス）及水産製造品ノ共同販賣ヲナシ併テ一般荷主ノ委托販賣ヲ爲ス

第三條　魚市場ニ於テ競賣シタル魚代金ノ集金及取立ハ別ニ金融機關ヲ組織シ本組合監督ノ下ニ之ヲ代行セシム

第四條　魚市場設置ノ地ニ於テハ組合員ハ其ノ魚市場以外ニ於テ鮮魚ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ特殊ノ事由ニ依リ魚市場ニ於テ賣買シ能ハサルモノハ其ノ都度本組合ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

前項ニ違反シタル者ハ其ノ鮮魚ヲ沒收ス、尙評議員會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルヘシ

第五條　魚市場ノ事業ハ特別會計トス

第二章　職員

第六條　魚市場ニ支配人一名事務員及現業員若干名ヲ置キ本組合組長之ヲ任免ス支配人ハ本組合組長ノ指揮ヲ受ケ魚市場ヲ統轄ス其ノ他ノ職員ハ支配人ノ指揮ヲ受ケ各其ノ事務ヲ掌ル

第七條　魚市場ニ相談役若干名ヲ置キ本組合組長之ヲ囑託ス相談役ハ名譽職トス相談役ハ魚市場ノ業務施行ニ關シ本組合組長ノ諮問ニ應ヘ且ツ意見ヲ提出スルモノトス

第三章　販賣方法

第八條　販賣方法ハ總テ競賣法ニ依リ最高額ヲ以テ決定トス但シ時宜ニ依リ相對賣ヲ爲スコトアルヘシ

第九條　競賣ニ參加スル買受人ハ本組合特定ノ仲買人ニ限ル但シ相對賣ノ場合ニ於テ買受代金ヲ即納スル者ハ何人ト雖買受人トナルコトヲ得

第十條　競賣場ノ開閉時刻ハ本組合組長適宜之ヲ定ム毎年一月一日ハ休市トス

第十一條　競賣ノ順序ハ總テ着荷ノ順序ニ依ル但シ荷主間ニ承諾アル場合ハ之ヲ前後スルコトアルヘシ

第十二條　賣買決定後ハ荷主及買受人ヨリ一切異議又ハ取消ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十三條　競賣價格不當ト認ムルトキハ取引ヲ中止シ便宜ノ方法ニ依リ處分スルコトアルヘシ

販賣價格ヲ指定セル委托品ニシテ其ノ價格ニ達セサル場合亦前項ニ同シ

第十四條　賣買價格ハ金位トシ競賣價格ニ一割ノ割增金ヲ加ヘ計算ス

前項ノ割增金ヲ歩一金ト稱ス

第十五條　魚市場ニ於テハ荷主ヨリ左ノ手數料ヲ徵收ス

一、鮮　魚　賣揚高ノ百分ノ十

一、水產製造品　賣揚高ノ百分ノ五

第十六條　販賣ヲ委托セラレタル水產物ニシテ荷主ノ都合ニ依リ其ノ販賣ヲ中止スル場合ハ魚市場見積價格ノ百分ノ五ヲ手數料トシテ徵收ス

第十七條　販賣ヲ委托シタル水產物ノ處置ニ關シテハ取引終了スル迄荷主ハ總テ魚市場ノ指示ニ從フヘシ

第十八條　販賣ヲ委托セラレタル水產物ハ總テ魚市場ニ於テ保管ノ責ニ任ス但シ天災其他不可抗力ノ事由ニ因リ生シタル損害竝減量等ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ責任ハ魚市場カ委托物ヲ受領シタル時ニ始リ取引ノ成立ヲ記帳シタル時ニ終ル

第十九條　魚市場賣揚代金ハ即時仕切書ヲ作リ荷主ニ交付ス

第二十條　取引成立シタルトキハ買受人ハ直ニ其ノ物品ヲ引取ルヘシ、取引成立ヲ記帳シタル後ニ至リテハ減量其ノ他ノ損害ニ對シ魚市場ハ其ノ責ニ任セス

第四章　仲買人

第二十一條　魚市場ノ仲買人タラムトスル者ハ青島市内ニ居住シ一戶ヲ構ヘ身元確實ナル男子二名以上ヲ保證人トシテ本組合ニ申込ムヘシ

組長ニ於テ仲買人タルコトヲ承認シタルトキハ身元保證書ニ指定ノ保證金ヲ添ヘ本組合專屬金融組合ニ提供スヘシ

前二項ノ手續ヲ爲シタル者ニ非ラサレハ魚市場取締規則第六條ノ出願ニ對シ連署ヲ爲ササルモノトス

第二十二條　仲買人ハ任意組合ヲ設ケ常ニ仲買人ノ行爲ヲ監督シ魚市場ト仲買人トノ中間ニ立チ取引ノ圓滿ヲ計リ且業務上總テノ斡旋ヲナス爲メ相當ノ役員ヲ置クコトヲ得

仲買人ノ資格ヲ得タル者ハ仲買人組合ニ加入スルコトヲ得

仲買人組合規約ハ本組合ノ承認ヲクヘシ

第二十三條　仲買人ニシテ自ラ魚市場ノ取引ニ參加セス代理人ヲ立會セシムルトキハ豫メ本組合ノ承認ヲ受クヘシ代理人ノ爲シタル行爲ハ之ヲ委任シタル仲買人ニ於テ其ノ責任ヲ負フモノトス

第二十四條　仲買人ニハ仲買人證票ヲ交付ス

仲買人證票ハ取引立會ノ際之ヲ携帶スヘシ

第二十五條　仲買人ノ商號及氏名ハ票札ニ記載シ之ヲ魚市場ニ揭示ス

第二十六條　仲買人ハ魚市場以外ニ於テ本組合區域內ニ生產スル水產物ノ買入レヲ爲スコトヲ得ス

仲買人カ本組合區域外ヨリ水產物ヲ移入シタルトキハ總テ魚市場ニ於テ販賣スルヲ要ス

特殊ノ事由ニ依リ前項ニ據リ難キ場合ハ豫メ本組合ノ承認ヲ受クヘシ

第二十七條　仲買人カ前條ノ規定ニ違反シタルトキハ魚市場ニ於テ取引シタルモノト看做シ魚市場ノ見積價格ニ依リ第十五條ノ手數料ヲ徵收ス

第二十八條　仲買人カ其ノ日ニ取引シタル水產物買受代金ハ本組合ノ指示スル期日內ニ魚市場若ハ其ノ指定者ニ納付スヘシ

已ムヲ得サル事由ニ依リ前項ノ期間內ニ納付シ能ハサル者ハ百圓ニ付日歩五錢ヲ徵收ス

第二十九條　仲買人前條ノ入金ヲ延滯シタルトキハ身元保證金ヲ以テ之ニ充當シ尙不足アルトキハ本人又ハ保證人ヨリ之ヲ追徵ス

第三十條　仲買人左記各號ノ一ニ該當シタルトキハ魚市場ノ取引立會ヲ停止シ又ハ除名スルコトアルヘシ

一、本組合ノ認定シタル信用程度ヲ超過シテ買受ケタル者

二、買受代金ノ納入ヲ延滯シタル者

三、魚市場ノ業務ニ對シ妨害ヲ加ヘ又ハ加ヘムトスル者

四、本規程ニ違反シタル者

第三十一條　仲買人ハ魚市場取引停止中ノ他ノ仲買人ニ對シ名義ノ如何ヲ問ハス水產物ノ供給ヲ爲スコトヲ得ス若シ之ニ違反シタルトキハ被停止者ノ債務ニ付責任ヲ負ハシメ更ニ前條ヲ適用ス

第三十二條　仲買人ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル者ハ仲買人名簿ヨリ削除ス

一、貳箇月以上魚市場取引ニ立會セサル者

二、半期間ヲ通シ買受額五千圓ニ達セサル者

三、仲買人ヲ以テ主タル營業ト爲ササル者

四、日常羅市ニ立會セサル者

第五章　歩戻金、公益金及歩一金

第三十三條　魚市場ハ鮮魚賣上手數料ノ內左ノ率ニ依リ歩戻金及公益金ヲ支出ス

一、仲買歩戻金　手數料ノ十分ノ一・五

一、水產公益金　手數料ノ十分ノ一・五

一、附屬金融機關歩戻金　手數料ノ十分ノ三

第三十四條　歩戻金ハ魚市場事業決算期毎ニ之ヲ交付ス

仲買人ニシテ事業決算期ニ買受代金ヲ完納セサルトキハ歩戻金ヲ交付セス

第三十五條　水產公益金ハ毎月十日限リ前月分ヲ精算シ本組合經費中ニ收入ス

第三十六條　第十四條ノ歩一金ハ青島水產業奬勵ノ爲メ左ノ率ニ依リ交付ス但シ本組合定款及諸規程ニ違反シタル者ニハ之ヲ交付セス

一、漁業者（漁業者以外ノ荷主ヲ含ム）　十分ノ四

一、漁業組（仲買人又ハ三年以上青島居住ノ單獨漁業者並ニ小仲買人ヲ含ム）　十分ノ二

一、仲買人　十分ノ四

前項ノ交付金ハ魚市場ニ積立テ置キ決算期毎ニ之ヲ交付ス

公課ノ代納又ハ已ムヲ得サル事情ヲ生シタル場合ハ中途ニ於テ支出スル事アルヘシ

第六章　計算

第三十七條　魚市場ノ計算ハ毎年十二月末日ニ於テ總勘定ヲ爲シ事業報告書、收支計算書及剩餘金處分案ヲ作リ組合評議員會ノ承認ヲ經テ組合總會ニ報告スルモノトス

573
185

昭和二年度及同三年度

芝罘、龍口、威海衛地方の漁業

（附）

崆峒島及利津沖の黄花魚漁業

573
185

芝罘、龍口、威海衛地方の漁業

總說

芝罘及其の附近を根據とする漁船は發動機漁船及地方土民の營む地曳網及延繩船其他數種の漁船あり。發動機漁船は芝罘及威海衛を根據とするもの昨年十六隻に比し、本年は一躍三十八隻に上り其他の漁船は崆峒島、芝罘島及養馬島を根據とするもの百四、五隻あり。之等漁船中年を通じて活動するものは發動機漁船にして帆船漁業は每年十二月上旬頃より翌年二月下旬に至る間、寒氣風浪のため活動兎角鈍く殊に地曳網の如きは其の漁業期間は短命である。逐年機械漁業の增加に伴ふ沿岸漁區の亂獲は地方漁民に著しき衝動を與へ死活問題なりとの輿論沸騰し全漁民の代表者は福山地方法院に行政訴訟を提起したが其の理由とする處は法力を以て發動機漁船の漁撈區域を陸岸より百支里以外に制限して、沿岸漁民の生活上の安定を保護するにあるが本訴訟に對し、法院は深く考慮するところあり近く中央政府の頒布する漁場取締法に請願事情を參酌して公平なる決定を與へんとするにあるが兎角機械繰業の躍進發達は之等全漁民の一大恐威である。

573
185

第一　魚種及漁獲高

年を通じて漁獲高の主なるものはグチ、エビ、鯛、サバ、サワラ、太刀魚、ヒラメ、ホーボ、サヨリ、コチ、ボラ、カレイ等にして本年度に於ける漁撈成績は順調であつたため、昨年の六百十萬二千三百支那斤に比し本年は七百九十八萬七千五百支那斤となり、一躍百八十六萬四千五百支那斤といふ豫想以上の漁獲を見たが其の主なる原因は發動機漁船の增加に基因する。之等漁獲物の主なるものは崆峒島沖のグチ漁である。本業は毎年四月中旬より五月上旬にかけ其の大部分は帆船漁業者が殆んど獨占的にして當地方沿岸漁船の外旅順地籍約百五、六十隻、登州府地籍二百四、五十隻、龍口地籍約百二十隻、金州其他のもの約百隻毎年出漁するを例とす。以上各漁業船の漁獲物は芝罘を中心に山東角、威海衛、酒館集冲より欒家口、登州府長山島、三山島及龍口冲の一部は芝罘に、龍口より利津及羊角溝方面のものは主として龍口に（漁場より威海衛及大連方面へ輸移出するものも亦少なからず）輸入するを例とす。之等漁船は船主と各地魚問屋間に取引上の系統を有するを以て自由に投賣し得ざるを原則として居る。次に主なる漁獲物の漁期其他につき詳述せん。

『グチ』　例年春季海溫の上昇に伴ひ四月の清明節前後より漁期に入り、同月中旬を盛漁期とする。本業は最初芝罘冲崆峒島に始まり普通同月下旬頃より漸次利津に移動し、五月上旬更に熊岳城方面へ移り同月下旬に至り終了する。

『エビ』（車エビ大ノモノ）　芝罘近海に於て春冬二期に漁獲せられ、春期漁期は普通四月下旬より始り五月中旬盛漁期に入り同月下旬に終漁期に入るを例とす、冬期漁期は十一月上旬より十二月下旬にかけ不規則に漁獲される。春期漁獲物は抱卵且つ肥滿せる大物にして調味佳良なるに反し、冬期のものは痩身にして調味春物に及ばざること遠く、從つて其の漁獲高も亦僅少なるを免れない。

『鯛及黑鯛』　三山島、長山島及龍口冲は著名なる漁場にして毎年五月中旬より漁期に入り六月上旬終了す。本漁期には例年本邦（主として下關）大連及支那の各發動機漁船百三、四十隻集合し競爭的に漁獲しつゝある。漁獲物に對し本邦漁籍のものには支那官憲は漁業權侵害なりとの理由の下に魚問屋を壓迫し取引全然不可能ならしめたるを以て販路は自然大連及本邦に向けられ、支那發動機漁船の漁獲物は主として大連方面に仕向けられ居るも時の相場により芝罘に水揚される事もあり、取引一定せず。

サバ、サワラ、太刀魚、ヒラメ、ホーボ、サヨリ、コチ、ボラ、カレイ、フク、ブリ等の雜魚の漁期は三月下旬頃に始り五月下旬より六月下旬にかけ盛漁期となる。その中サバ、サワラ、ブリ、ボラ等は六月下旬終漁期に入る。其他の魚類は年を通じて漁獲せらるゝも十二月中旬より翌年三月迄は漁獲高著しく減少するを例とす。

579
185

第二　漁獲物の販路及輸移出高

昭和二年及同三年の海路各地輸移出高は次表の通りにして其の殘餘は芝罘を中心に福山、牟平、文登、招遠、棲霞及蓬萊縣の各縣に陸路搬出して居る。而して海路輸移出品は五、六、七月の盛漁期は氷結鮮魚として大連、安東、天津及上海方面に輸送せられ、其他の大部分は主に鹽魚として輸送せられて居る。昭和三年中鮮鹽魚の概況を掲ぐれば左の如し。

『鹽魚』　芝罘地方に於て鹽魚とせられるものは主として太刀魚、グチ、カレイ、カナガシラ、サバ等の雜魚にして鯛、エビ其他の高級魚類は鹽藏するものは少い。昭和三年中輸出せられたる鹽魚は天津八百二十七擔、汕頭一萬一千百四擔、上海二萬七千六十二擔、香港一萬三千百四十九擔、大連九千四百三十九擔、厦門百一擔、仁川六擔、計六萬一千六百八十八擔である。

『鮮魚』　毎年漁獲期に至り、漁獲鮮魚の大部分は其の需要地なる大連、安東、上海等へ輸送せられる。昭和三年中鮮魚の輸送高は大連九千五百六十四擔、安東二千八百八十一擔、上海千六百四十五擔、天津二百三十一擔、計一萬四千三百二十一擔である。

昭和二年度海路輸移出數量　（本表ハ担ヲ以テ計上、一担ハ百斤トス）

月別 / 地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
上海	—	二八	五六	一、四七四	三、〇一五	四、二〇八	六、五三九	一、二九七	一、七一三	一九九	一四五	二三、六四二	
汕頭	九六三	—	一五二	三三一	三、〇九八	四、八七八	四六二	四一九	八一	—	四六二	一、八五八	七、七二六
香港	—	—	三四	二、二四〇	四、七一九	五、三六二	三二	三四二	八九四	—	—	—	一三、六三五
厦門	—	—	—	四八	三四	—	—	—	—	—	—	—	八二
大連	—	—	—	五六二	二、八〇五	五、二二	五八六	—	一、三三四	二〇	一七五	—	六、一〇三
安東	—	—	—	—	—	—	—	—	二九	七二	—	—	二九一
天津	一九	三	三七	三三	三〇	八一	六	—	八四	九五	四〇	一六五	五九二
青島	—	—	—	一七三	一四八	—	—	—	—	二四	—	—	三四四
鎭南浦	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	二
計	九八二	一三二	二七九	四、七四九	一三、八四九	一〇、一七四	五、九六四	七、三〇〇	三、九〇九	一、九二四	八七六	二、一六八	五二、三〇五

其他朝鮮及安東へ輸出高九百四拾七擔

總輸出高五萬參千貳百五拾擔

572
185

昭和三年度海路輸移出數量

地名＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
上海	一	一〇八	三三	一、五五三	四、三三〇	七、二四〇	三、七四五	五、七八五	四、三四六	一、七五三	五六〇	一六六	二九、二〇六
汕頭	三五七	一八四	四四	—	二、一四一	八二七	四九四	一四九	—	九二一	二、八九四	三、〇二三	一一、一〇四
香港	—	—	二	一、四〇六	二、一〇〇	六、八二三	二、一五八	九四	四〇八	六九	—	—	一三、一四九
厦門	—	—	—	—	—	—	四〇	六二	—	—	—	—	一〇二
大連	一七	九	三五	六、八八六	九、二九五	一、九〇七	九二	九	二四〇	九八	—	二五五	一八、八四三
寧波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天津	七二	四五	五八	一七	五	—	一六二	四七	一〇二	三二	三五	一三五	一、〇五八
青島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鎭南浦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安東	—	—	五七	一、八〇七	二、〇〇五	—	—	—	—	二	二	—	三、八二
仁川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	二	三	六
計	四四五	三四六	二三八	二、八二六	一九、九六六	一六、七八六	六、六九一	六、一四五	五、〇九六	二、九五三	三、六八三	三、五八二	七七、七四九

（註）昭和二年度に比し地方消費高の激減せるは時局の爲購買力の減少によるものにして他方漁獲高の激增は發動機漁船の增加に基因する處多し。

第三　支那官憲の取締

毎年崆峒島及利津冲のグチ漁期、龍口冲の鯛漁期には支那官憲は本邦發動機漁船の領海内の亂獲、其他一般取締りのため東北艦隊より軍艦を派遣して居る。數年前までは下關方面から來航した漁船が領海を侵蝕し、支那漁民との間に紛擾を來し日支官憲間に交涉事項を醸したる事も少くなかつたが一昨年來之等の事項も殆んどなくなつた。要するに之は潮流又は海温の關係による魚道の變遷、其他農林省派遣の監視船及大連水上警察署派遣の監視船が絶えず巡航して諸般の警告を與ふる等に基因するものである。其他一般漁業は芝罘水上警察署の巡邏船鎭海、霑海、澄海が交互に出動し一般の取締りに當つて居る。

第四　本邦監視船の出動取締

例年グチ漁期には旅順地籍のグチ漁船百五十餘隻が出動する關係より、之が保護取締りのため關東廳は大連水上警察署の所有巡邏船を派遣する外、龍口鯛漁期には農林省派遣巡邏船が出動してゐる。大連水上警察署巡邏船は單に保護取締を目的とするも農林省派遣のものは保護取締の外氣温、海温、潮流等漁業に關する一般の調査をなして居る。

579
185

第五　威海衛概況

威海衛を根據とする發動機漁船は昨年來著しく增加し現在十五、六隻に及ぶ、之等漁船は英支人共同經營のものと支那人單獨經營のものとあり。漁撈區域は普通山東角より芝罘、大連間にして其の漁獲物は同地にて消費せられるもの僅少にして大部分は朝鮮又は上海方面に輸送せられる。

由來威海衛は自由港にして諸掛り少きに加へ、大連、芝罘其他輸出先に至便なる關係等より漁業に對する同地の發展は將來尙有望である。

昭和三年中威海衛輸出魚類表　（担計上、一担ハ百斤トス）

地名＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
天津	二	—	一六	—	七八	—	二三	—	七	—	一二七	七三	三二六
上海	一八	一九	—	五四	一、七七九	二、七四〇	一、二九六	三、六〇六	二、〇九五	一、六一五	三一〇	一七〇	一三、七〇二
香港	—	—	一六	九七七	二、〇九四	三、八〇四	二、八〇八	一、七四八	二七七	一、七一九	四九一	四九〇	一四、四二四
廣東	—	二〇九	—	—	—	一、〇〇三	—	—	—	—	—	—	一、二一二
汕頭	—	八八	七七	—	二、〇八〇	二五	—	一五四	—	七四〇	四四九	一、四〇二	五、〇一五
厦門	—	—	—	—	—	三一六	四一	—	—	—	—	—	三五七
興化	—	—	—	—	八五一	—	—	三二〇	—	—	—	—	一、一七一
其他	—	—	—	九三	二六六	—	—	—	—	—	七一	九	四三九
計	二〇	三一六	一〇九	一、一二四	七、一四八	七、八八八	四、一六八	五、八二八	二、三七九	四、〇七四	一、四四八	二、一四四	三六、六四六

尙ほ昭和三年度は同二年度に比し約四割の增加を示せり。

573
185

嵊峒島及利津沖の黄花魚漁業

概　說

由來渤海に於けるグチ漁業は龍口沖に於ける鯛魚と相俟つて主要なる漁業の一にして、毎年漁期に於ける出漁船は千數百隻に上り甚だ繁盛を極む、其の中關東州内に船籍を有する漁船亦二百六、七十隻に及ぶ。グチ漁業に從事する漁夫は之を專業とするもの少く半漁半勞にして從漁期終了後の閑散期たる六月中旬より翌年二月下旬迄は鹽及土產物の運送に從事するもの多く之等漁船の昭和三年度中嵊峒島（芝罘前海）及利津に出漁したるものは關東州管内約二百六十六隻、登州府四百隻、萊州府二百隻、計八百六十六隻、外に地籍不鮮明の出漁船相當多く其の數千隻以上に上ると言ふ。

第一　支那人の嗜好物たるグチ魚

元來グチ魚は支那人に最も賞美せられ漁獲時期に至れば多少を問はず購入する風習あり。購買者は之をそのまゝ鹽漬又は鹽干物とし秋冬の候に至りて菜類と混煮愛用せられるものである。其時期に至るや芝罘、龍口地方の民家にありては各門戸又は屋上に日乾し又は鹽漬となし蓄藏するを見ても如何に支那人に嗜好物なるかを推知するに足る。試みに昭和三年中龍口近郷にて消費せられたものを掲ぐれば約百二、三十萬斤にして其他は鹽漬又は生魚のまゝ仲買人に依り天津、安東、營口、利津河、黄河一帶の奥地に輸送される。

第二　漁　期

例年グチの廻游は春氣海溫の上昇に伴ひ嵊峒島に始まり四月上旬より漁期に入り同月中旬漸次利津沖に移動し五月上旬までを利津沖の漁期とす。それより更に熊岳城に移り五月下旬に至り其の年の渤海の本業は終了する。

第三　グチ魚用風網の組立と漁業の大要

グチ漁に使用する風網は普通巾四尋、縱二十尋物を一條とし、新調には約二十元を要す。之等は數人又は數十人の共同出資に係り一隻五十條乃至六十條を有し使用に際しては漁場の深淺により適宜に結合するものにして現在渤海の三漁場たる嵊峒島、利津、熊岳城に於けるもの左の如し。

地名	水深	網一條ノ縱巾	結合數	總橫巾	備考
嵊峒島	三〇尋	四尋	六〇條	二四〇尋	

573
185

利　津　二〇尋　同
熊　岳　城　同　同　同

最も右は普通常時に使用せらるゝものにして風向、潮流の緩急群魚の多寡に依り増減せられるものである。以上の組立を終り兩端上下に適當の引繩を結び入網後始めて風力又は人力により引網するものである。

第四　販賣方法及相場

龍口について之を見るに同地に於ける魚問屋は十三戸にして內九戸は永年グチ魚漁業者との間に深き取引關係あり。之等魚問屋は毎年末夫々漁業者の住所に出張し漁期グチ引渡しの條件の下に資金を貸與し又漁期に於ては食糧及必需品を貸與する慣習あり。故に漁期に至るや漁業者は其の漁獲物を魚問屋に依託販賣し、魚問屋は之を仲買人との間に魚價を協定し即時取引をなすものである。

昭和三年中に天津、營口、羊角溝から龍口に入港した仲買戎克船は五、六十隻に及び本期中龍口に於ける取引相場は左の如し。

五月五日、六日　支那百斤　銀四元五十仙
七月八日　同　銀五元四十仙
七月九日　同　銀四元三十仙
七月十二日　同　銀三元六十仙
七月十三日　同　銀三元四十仙

以上の相場を協定するには毎日魚問屋は仲買人と會合し、天候收獲高の多寡及販路の狀況其他諸般の狀況を參酌して協定する。委託販賣手數料は魚價百元に對し四元にして更に第三者たる仲買人よりは百元に對し三元の口錢を取るを例とす。

第五　漁獲高

昭和三年利津冲のグチ漁業は前年度の好成績に鑑み相當の漁獲あるべきを豫想したるも天好の不良と漁期の比較的短かゝつたゝめ前年度程の好成績はあげ得なかつたが漁船延船數千三百十隻、漁獲高は八百七十五萬斤、價格三十八萬六千五百元、一隻當豐漁船二千元、不漁獲船二百元程度のものありて漁業者中相當の打擊を蒙つたものも少くない。

左に漁獲高及販賣地を示さん。

573
185

漁期　四月二十九日出漁
　　五月十五日終漁

漁獲物販賣地名	出漁者原籍地	漁船延隻數	數量	平均單價（百斤）	金額
龍口	關東州	一一〇	一、八〇〇、〇〇〇斤	三・六〇元	七二、〇〇〇・〇〇元
	登州府	一〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三・六〇	一一〇、〇〇〇・〇〇
	萊州府	一一〇	三〇〇、〇〇〇	三・六〇	一一、〇〇〇・〇〇
三山島	關東州	六〇	二四〇、〇〇〇	四・五〇	一一、〇〇〇・〇〇
	登州府	二〇〇	八〇〇、〇〇〇	四・五〇	四〇、〇〇〇・〇〇
	萊州府	二〇〇	八〇〇、〇〇〇	四・五〇	四〇、〇〇〇・〇〇
海廟灘	關東州	五〇	一五〇、〇〇〇	四・五〇	七、五〇〇・〇〇
	登州府	一〇〇	三〇〇、〇〇〇	四・五〇	一五、〇〇〇・〇〇
	萊州府	八〇	二四〇、〇〇〇	四・五〇	一一、〇〇〇・〇〇
虎頭崖	關東州	四〇	一六〇、〇〇〇	四・九〇	八、〇〇〇・〇〇
	登州府	一八〇	七二〇、〇〇〇	四・五〇	三六、〇〇〇・〇〇
	萊州府	六〇	二四〇、〇〇〇	四・五〇	一二、〇〇〇・〇〇
計	關東州	二七〇	二、三五〇、〇〇〇	—	九九、五〇〇・〇〇
	登州府	六八〇	四、八一〇、〇〇〇	—	二一二、〇〇〇・〇〇
	萊州府	三六〇	一、五八〇、〇〇〇	—	七六、〇〇〇・〇〇
合計		一、三一〇	八、七三〇、〇〇〇	—	三八六、五〇〇・〇〇

第六　支那官憲の取締と稅金

支那官憲は從來グチ漁業には餘り重きを置かず、單に每年風網船一隻十五人乘以上十二元、十五人以下乘組船には十元の稅金を徵收する外、章旗代として章旗引替へに四十仙を徵收し居りたるものが本年は一律に十二元を徵收し、其他發動機船一隻百二十六元、地曳網十二元、延網船一隻一元、外に漁航局長交代せりとの理由の下に從來の章旗を無效とし昭和三年より改めて一元二十仙を徵收した。然るに同年四月末日には支那砲船鎭海は漁場取締の名により各漁船より五元宛徵收することに決した。其の後更に漁航局は特別附加稅として、

漁船百石積　三十元四十五仙
同　八十石積　二十六元四十五仙

579
185

同　六十石積　二十二元四十五仙
同　五十石積　十八元四十五仙

を強制的に賦課したが本問題は漁業者に大打撃を與へるものとして漁航當局との間に相當物議を生じ結局漁業者側に於て入港漁船に對し魚問屋が其の責任を負ひ保護することになり解決した。而して其後更に當該漁航局は漁船の積量判明せずとの口實の下に一律に最高額たる三十元四十五仙を强徴するに至つた。支那當局は斯る重稅を再三徵收したるにも拘はらず課金は常に軍閥を支持するの資に供せられ保護取締は名のみにて未だ何等漁民の爲裨益せるものなし。

昭和五年五月十五日印刷
昭和五年五月二十日發行

發行所　青島日本商工會議所

編輯兼發行人　島津忠男

印刷所　泰東號印字局

579
185